

すずむし

第 1 1 2 号

1975年12月

倉敷昆虫同好会

“すずむし”投 稿 規 定

1. 報文の原稿は次のような体裁にする。

- (イ) 用紙は400字詰原稿用紙を用いる。
- (ロ) 記述は表題、著者名、現住所、本文、要約、文献の順序とする。
- (ハ) 動植物の和名は片仮名で書き、学名は Papilio xuthus LINNE のように下線をひく。Data の記載は次のように略記する。
2 ♂, 1 ♀, Aug. 26, 1966 または, 2 ♂, 1 ♀, 26. VIII. 1966など。
- (ニ) 読点は(. , : ; “ ”)などを用い、句読点および括弧は各一字にとる。
- (ホ) 文献は本文に引用したものに限り、著者名のアルファベット順に並べて下記のような形式で記す。

大野正男 (1966) 広島県のハムシ相. すずむし16, (1): 1—11.

MOTSCHULSKY, V (1859) Homopteres in insectes des Indes orientales, et de contrées analogues. Etud. Ent. 8 : 25—118.

2. 報文は簡潔に記すこと。原稿は返却しない。

3. 別刷は著者の負担で調製できる。原稿第1頁欄外に必要部数を明記すること。

4. 原稿の送付は下記宛とする。

岡山県倉敷市幸町 重井病院内

倉敷昆虫同好会

す す む し

No. 112

Dec., 1975

岡山県の広腰亜目（膜翅目）

その1 ハバチ科

近藤光宏⁽¹⁾・三宅宗夫⁽²⁾

岡山県の広腰亜目については、すでに筆者の一人近藤^{5), 6), 7)}が、本誌('60), ('61), ('62)で3回、わずかではあるが報告している。

筆者らは、その後も分布調査を進めるとともに、生態を明らかにするため、幼虫の確認と、その飼育に微力を注いできた。その結果成虫・幼虫とともに採集例・観察例は多くなり、いくらか前進をみるにいたった。

しかしながら、本亜目全体の中でみると、こうして得られた生態の記録は、あまりにも少なく、また分布調査についても、調査の地域・時期にかたよりがあるなど、その完成にはほど遠いといえる。

したがって、本報文は、筆者ら自身決して満足できるものではない。ただ、今後の調査の足がかりをつくり、ひいては、県下の昆虫相解明の一助ともなることを願って、今回はとりあえず、ハバチ科についてのみまとめるにした。

記述方法としては、できるだけわかりやすいものにするために、本誌108号('72)“岡山県の蝶”を参考にした。

本稿を草するに当たり、奥谷禎一博士には平素から格別のご指導とご援助をいただきおり感謝にたえない。ここに改めて厚くお札を申し上げる。

一方、安江安宣博士からは、文献の収集について便宜を賜わり、いつも暖かい指導をいただいた。また、重井博博士には、調査を進めていくうえで、物心両面にわたって数々のご援助をいただき、たいへん勇気づけられた。また、古屋野寛氏には、幼虫と食草との関係を明らかにするために必要な食草の同定をお願いした。ここに記して厚くお札を申し上げる。

なお、標本提供者は、筆者らの外に、次の五氏のものが含まれていることを記してお札にかえたい。

浅野憲一、重井博、竹内幸夫、那須敏、安江安宣

(1) 〒710 倉敷市中央2丁目16-14 教員

(2) 〒712 倉敷市連島町西之浦5820 会社員

凡　　例

1. この報文には、岡山県下で記録されたハバチ科93種（シダハバチ亜科9種、スギナハバチ亜科5種、ネマツスハバチ亜科5種、マルハバチ亜科31種、ハバチ亜科43種）いずれも種名の判っているものについて、次のような内容が記述してある。

A：分布記録、B：分布の概説と発生経過、C：食草（食樹）、D：生態その他

2. 分布記録については、県下ではじめて記録されたものについては、必ずとり上げ、最初にかかげるようにした。都市で記録されたものについても1例はかかげるようにし、その場合も、はじめての記録を優先した。♀♂については、1例でも採集されていればとり上げている。採集者名は、資料提供者については氏名を明記し、筆者らについては記号であらわすこととした。

K（近藤光宏） M（三宅宗夫）

3. 発生経過については、主として成虫の記録をもとにして、旬単位で示すようにした。年発生回数については、奥谷博士から直接ご教示いただいたものに「」をつけて区別した。この場合、数回とは4～6回と思われるが確かめていないもの、2回以上としたのは2回は確かで、あるいは3～4回と思われるもの。

4. 食草については、今後の調査のめやすにするため、奥谷^{1),2)} ('67), ('69)を引用し、「」をつけた。県下で確認（幼虫が、その食草で飼育でき、成虫になったもの）された食草については、右肩に*印を、また、その種にとって新発見の食草については右肩に**印をつけて区別した。

5. 生態その他については、主として幼虫を採集し、飼育羽化させたものについて、そのDataを記入した。

Family TENTHREDINIDAE ハバチ科

Subfamily Selandriinae シダハバチ亜科

1. *Strongylogaster lineata* (CHRIST, 1791) ナガワラビハバチ

A：阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀

C：「ワラビ」

2. *S. osmundae* (TAKEUCHI, 1941) ゼンマイハバチ

A：高梁市—玉川 (May 22, '60, K) 1♂

B：食草の分布から考えて、県下に広く分布するものと思われる。「年2回発生(4月末、6月中旬)」

C：ゼンマイ*

D：総社市—美袋 (May 3, '73, K) ゼンマイの葉から幼虫を多数採集 → (June 4, '73) 1♂羽化；高梁市—玉川 (May 20, '73, K) ゼンマイの幼虫数十頭 → (June 11～20, '73) 3♂♂羽化。以上の飼育で、美袋・玉川どちらも老熟幼虫

は、朽木中にもぐって営繭することを確認した。また、自然状態で、幼虫は、ひとところに集まって、葉を食べることを観察した。

3. *S. secundus* (TAKEUCHI, 1929) ナガゼンマイハバチ

A : 浅口郡—遙照山 (Apr. 23, '61, K) 5♀♂; 倉敷市—連島町 (May 5, '62, K) 1♀;
真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1♀1♂; 新見市—井倉 (May 1, '66, K) 1♂; 苫田郡—奥津町 (May 15, '66, K) 1♀

B : 県南では、4月下旬～5月上旬、県北では、5月下旬まで発生がみられ、県下に広く分布している。「年1回発生」

C : 「ゼンマイ」

4. *Stromboceros koebeli* ROHWER, 1910 ケーベルハバチ

A : 真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1♀1♂; 苫田郡—阿波村 (June 7, '64, K) 1♀

B : 県北で記録しているが、県中・南部での記録はない。「年1回発生」

C : 「ジュウモンジシダ」

D : 真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) サカゲイノデに多数の成虫が集まっていた。

5. *Aneugmenus japonicus* ROHWER, 1910 キバラワラビハバチ

A : 高梁市—佐与谷 (Apr. 14, '63, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♂;
真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1♀, 新庄村 (July 24, '66, K) 1♂; 英田郡—西粟倉村 (Aug. 22, '65, K) 1♂; 苫田郡—花知仙 (June 26, '66, K) 1♀

B : 県中部で4月中旬に、県北部では5月下旬から、おそいものは8月下旬まで記録がある。県南部の記録はない。「年数回発生」

C : 「ワラビ」

6. *A. kiotonis* TAKEUCHI, 1929 ワラビハバチ

A : 浅口郡—遙照山 (Apr. 23, '61, K) 1♀; 英田郡—後山 (July 29, '62, 重井博) 1♀
1♂; 若杉崎 (Aug. 22, '65, K) 2♀♀; 高梁市—方谷 (Sep. 20, '70, K) 1♀

B : 「年数回発生、本種秋型を *A. maculatus* キモンワラビハバチとして竹内 (1929) は記載した。」

C : 「ワラビ」

7. *Melisandra carinifrons* (MALAISE, 1931) オカトラノオハバチ

A : 浅口郡—遙照山 (Apr. 23, '61, K) 1♂; 児島郡—彦崎 (May 5, '62, K) 1♀

B : 南部の記録しかないが、鳥取県黒坂で記録しており、また⁴⁾兵庫県西部永ノ山、扇ノ山でも記録されており、県北にも分布しているものと思われる。「年数回発生」

C : 「オカトラノオ」

8. *Hemitaxonius minomensis* TAKEUCHI シケシダハバチ

B : 他地域のシケシダにも食こんが認められた。

D : 総社市—美袋 (May 5, '74, K) シケシダの幼虫多数→ (Apr. 13, '75) 2♀♀羽化

9. *Busarbia japonica* MALAISE ?

A : 川上郡—穴門山 (May 11, '75, K) 3♂♂

Subfamily Doleninae スギナハバチ亜科

10. *Dolerus lewisi* CAMERON, 1886 ムギハバチ

- A : 新見市—井倉 (Apr. 29, '61, K) 1♀; 倉敷市—連島町 (Mar. 13, '62, K) 5♂♂,
 (Mar. 20, '63, K) 4♂♂; 都窪郡—黒田 (Apr. 3, '63, K) 1♀; 倉敷市—浅原
 (Mar. 15, '64, K) 1♂; 浦田 (Apr. 2, '68, K) 1♀, 北畠 (Mar. 27, '69, K) 1♀
 B : 県南で早春に発生する。特に♂は、他のハバチよりはやい。「年1回発生」
 C : 「オオムギ, コムギ」
 D : 春一番, 快晴無風下の日だまりは, 気温の方も急上昇, こうした中を, 体をル
 リ色に輝かせながら活発にとびかう。付近一帯は, みかん畠, ムギ類は, ここ
 数年栽培されていないことから, 食草は他にあるものと思われる。

11. *D. similis japonicus* KIRBY, 1882 オスグロハバチ

- A : 都窪郡—黒田 (Apr. 6, '52, K) 1♀; 新見市—柏 (Apr. 29, '63, K) 1♀; 倉敷市—連
 島町 (Apr. 11, '63, K) 1♂; 福田町 (May 19, '65, K) 1♀, 新田 (Mar. 27, '66, K) 1♀
 B : 早春に発生し, 年1回とされているが時に秋羽化する個体がある。倉敷市—川
 入 (Oct. 26, '67, K) 1♂
 C : スギナ*

D : ♀はスギナ葉上にとまっているが, ♂は, その付近を活発にとぶ。

12. *D. subfasciatus* SMITH, 1874 スギナハバチ

- A : 倉敷市—連島町 (Apr. 3, '60, K) 1♀, 浅原 (Apr. 3, '68, K) 1♂; 高梁市—佐与谷
 (Apr. 14, '63, K) 1♂; 都窪郡—黒田 (Apr. 5, '64, K) 1♀; 総社市—昭和町 (Apr.
 20, '69, K) 1♀; 浅口郡—船穂町 (Apr. 25, '65, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May.
 1, '66, K) 1♀
 B : 4月上旬から5月上旬にかけて, 県下に広く分布している。「年1回発生」
 C : 「スギナ」

13. *Lodeus eversmani obscurus* (MORLATT, 1898) ヒメウネアカハバチ

- A : 総社市—美袋 (Apr. 29, '62, K) 1♀; 児島郡—彦崎 (Apr. 29, '62, K) 1♂; 備前
 市—閑谷 (Apr. 12, '64, K) 1♂; 岡山市—金甲山 (May 3, '64, K) 1♀; 浅口郡—船
 穂町 (Apr. 25, '65, K) 1♂

B : 県中南部で記録できるが, 次種ほど多くない。「年1回発生」

C : 「スギナ」

14. *L. genucinctus insulicola* (ROHWER, 1910) ニセヒメムネアカハバチ

- A : 倉敷市—連島町 (Apr. 4, '60, K) 1♀1♂, 新田 (Mar. 27, '66, K) 2♀♀8♂♂;
 高梁市—佐与谷 (Apr. 14, '63, K) 1♂; 新見市—柏 (Apr. 29, '63, K) 1♂; 真庭
 郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1♀1♂; 備前市—閑谷 (Apr. 12, '64, K) 4♂♂; 阿
 哲郡—大佐町 (May 1, '66, K) 1♀

B : 県南では早いものは, 3月下旬から発生し, 県下に広く分布している。「年1
 回発生」

C : スギナ*

D : 春, カエデ, サクラの花に多く集まる。

Sabfamily Nematinae ネマツスハバチ亞科

15. *Cladius Pectinicornis* (GEOFFROY, 1785) クシヒゲハバチ

A : 高梁市—玉川 (June 18, '61, K) 1♀; 倉敷市—連島町 (Apr. 26, '63, K) 1♀; 新見市—井倉 (Apr. 29, '63, K) 1♂; 岡山市—津高 (Apr. 19, '64, K) 1♀

B : 「年数回発生」

C : ノイバラ*, 「バラ類 (モッコウバラ, セイヨウバラ, テリハノイバラ, ヤブイバラ)」

D : 吉備郡—二万 (Sep. 3~8, '70, M) ノイバラの幼虫→ (Apr. 18~22, '71) 3♀♀♀♂♂♂羽化

16. *Stauronematus compressicornis* (FABRICIUS, 1804) サクツクリハバチ

B : 「年5~6回発生していると思われる。」

C : ダイセンヤナギ**, ヤマナラシ**, 「ポプラ, サイコクキツネヤナギ」

D : 苦田郡—倉見 (Oct. 7, '73, K) ダイセンヤナギの葉で幼虫18exs. 採集→ (May 27, '74) 1♀羽化, 産卵に成功した。; 倉敷市—玉島 (May 18, '74, M) ヤマナラシの幼虫→ (June 4, '74) 1♀羽化。しかし, 成虫については, まだ野外で採集していない。

17. *Croesus japonicus* TAKEUCHI, 1921 ヒラアシハバチ

B : 年2回発生している。

C : オオバヤシャブシ**, ハンノキ**, 「ハンノキ類 (ケヤマハンノキ, ヒメヤシャブシ, ヤシャブシ, コバノヤマハンノキ)」

D : 倉敷市—向山 (Oct. ?, '62, K) オオバヤシャブシ・ハンノキの幼虫を採集→ (Sep. 19~20, '63) 4♀♀1♂羽化, 玉島 (Nov. 8, '73, K) オオバヤシャブシの幼虫約40exs. → (Sep. 22~28, '74) 17♀♀2♂♂羽化, 向山 (June 3, '73, K) オオバヤシャブシの幼虫約30exs. → (Apr. 23~26, '74) 9♀♀羽化, その他飼育中のもので, 由加山 (Oct. 20, '74, K), 三田 (Oct. 27, '74, K) いずれもオオバヤシャブシで採集した。玉島 (Nov. 8, '73, K) 幼虫のものについては, 産卵させて, 2世代目の飼育を試みている。

通常年2回発生し, 2世代目にあたる秋のものが多いとされているが, 以上の飼育結果によれば, 春のものは春, 秋のものは秋と, いずれも1年後に羽化している。この点, さらに検討してみる必要がある。

18. *Nematus inornatus* (TAKEUCHI, 1936) アシブトヒゲナガハバチ

A : 浅口郡—遙照山 (Apr. 23, '61, K) 1♀

B : 「年1回発生」

C : 「ウスノキ」

19. *Mesoneura macroptera* TAKEUCHI ハネビロハバチ

A : 真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1♀

D : 非常にめずらしい種とされている。

Subfamily Blennocampinae マルハバチ亜科

20. *Athalia japonica* (KLUG, 1813) ニホンカブラハバチ

A : 倉敷市—連島町 (Sep. 16, '59, K) 1♀, (Apr. 26, '60, K) 5♀♀2♂♂; 新見市—井倉 (May 3, '60, K) 4♀♀2♂♂; 高梁市—玉川 (May 22, '60, K) 1♂; 御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 1♂; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 3♀♀; 真庭郡—新庄村 (July 24, '66, K) 1♀; 英田郡—福本 (Apr. 14, '68, K) 1♂

B : 県下に広く分布し、年2回発生?している。「本種は、どうも2回のようです。」

C : イヌガラシ*, 「タネツケバナ類 (タネツケバナ, ジャニンジン), ハタザオ, アブラナ類 (カブ, コマツナ, シャクシナ), ワサビ。広くアブラナ科を食う。」

D : 倉敷市—中央 (May 11, '69, K) 3♀♀イヌガラシに産卵目撃→ (May 24, '69, K) 幼虫発生, (June 5, '70, K) イヌガラシの幼虫10exs. 採集→ (Oct. 8~10, '70) 5♀♀羽化

21. *A. lugens infumata* (MARLATT, 1898) セグロカブラハバチ

A : 倉敷市—連島町 (May 20, '59, K) 1♂, (Apr. 24, '60, K) 8♀♀4♂♂; 新見市—井倉 (May 3, '60, K) 1♀; 高梁市—玉川 (May 22, '60, K) 1♀1♂; 児島郡—彦崎 (Apr. 29, '62, K) 2♀♀2♂♂; 備前市—閑谷 (Apr. 12, '64, K) 1♀; 英田郡—若杉峰 (Aug. 22, '65, K) 1♂; 苛田郡—倉見 (July 10, '66, K) 1♀; 真庭郡—新庄村 (July 24, '66, K) 1♀; 川上郡—七地 (Sep. 11, '66, K) 1♀; 総社市—槻 (July 7, '68, K) 2♂♂

B : 県下に広く分布し、「年数回発生している。」

C : イヌガラシ*, 「アブラナ類 (コマツナ, カブ)。」 幼虫はイヌガラシに最も多く見られた。

22. *A. rosae japonensis* ROHWER, 1910 カブラハバチ

A : 倉敷市—連島町 (Apr. 9, '60, K) 1♀; 高梁市—玉川; 真庭郡—川上村 (June 28, '64, 重井博) 1♀

B : 県下に広く分布するものと思われるが上記2種より少ない。「年数回発生」

C : 「ダイコン, カブ」

23. *Eriocampa albipes* MATSUMURA, 1912 シロアシマルハバチ

A : 上房郡—下皆部 (Apr. 19, '64, K) 1♀

B : 「年1回発生」

C : 「ハンノキ」

24. *E. mitsukurii* MATSUMURA 1912 ミツクリハバチ

A : 苛田郡—上斎原 (June 8, '75, K) 1♂

C : 「ヤマハンノキ, 他のハンノキ類では, 幼虫を確認していない。」

25. *Nesotaxonus flavescentis* (MARLATT, 1898) チャイロハバチ

- A : 倉敷市—連島町 (May 30, '60, K) 1♀; 新見市—井倉 (May 3, '60, K) 1♀; 川上郡—七地 (Sep. 17, '67, K) 1♀
- B : 年2回「秋世代のものは極めて少ないようである。」
- C : ヘクソカズラ*
- D : 高梁市—玉川 (June 2, '63, K) ヘクソカズラで幼虫採集→ (June 16, '63) 1♀羽化; 川上郡—七地 (Sep. 27, '70, K) ヘクソカズラで幼虫採集→ (Apr. 30, '71) 1♀羽化
- 本種の♀は、今だに採集例がなく単為生殖をするものとされている。
26. *Hemideleses nigriceps* TAKEUCHI, 1929 アカネハバチ
- B : 幼虫の発生は5月上旬「年1回発生」
- C : アカネ*, ヤエムグラ**
- 近藤 ('71) は、ヤエムグラにいた幼虫を多数採集し、5♀♀羽化させた。
- D : 高梁市—川面 (May 9, '71, K) アカネ・ヤエムグラの幼虫数十頭採集→ (Apr. 11~17, '72) 68exs. 羽化
27. *H. athaloides* TAKEUCHI, 1929
- A : 高梁市—川面 (Apr. 18, '71, M) 1♀, (Apr. 12, '71, K) 3♂♂, (May 9, '71, K) 2♀♀
- B : 「年1回発生」
- D : 筆者等は、倉敷市連島町のヤエムグラで大発生していた幼虫を採集し、羽化させているが、上記の種とはことなるようである。
28. *Empronus obsoletus* MALAISE, 1935 コガシラハバチ
- A : 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀1♂
- C : 「イタドリ? 産卵が確認されている。」
29. *Ametastegia geranii* (TAKEUCHI, 1929) フウロソウハバチ
- A : 英田郡—若杉峰 (Aug. 22, '65, K) 1♀
- B : 「年2回以上発生」
- C : 「ゲンノショウコ」
30. *A. polygoni* TAKEUCHI, 1929 イタドリクロハバチ
- A : 倉敷市—連島町 (Apr. 19, '61, K) 1♂, (Apr. 22, '61, K) 1♀6♂♂; 真庭郡—新庄村 (July 24, '66, K) 1♀; 倉敷市—六口島 (May 3, '68, K) 1♂
- B : 「年2回以上発生」
- C : イタドリ*
- D : 総社市—美袋 (May 17, '69, K) イタドリの幼虫数頭採集→ (June 8~12, '69) 4♀♀5♂♂羽化。倉敷市六口島でも、イタドリの葉で、本種幼虫を多数確認した。
31. *Asiemphthus albilabris* (TAKEUCHI, 1929) ツマジロハバチ
- A : 苫田郡—阿波村 (June 7, '64, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀; 川上郡—磐窟谷 (Sep. 17, '67, K) 1♀

B : 「年2回以上発生」

C : 「ウツギ」

32. *A. deutziae* (TAKEUCHI, 1929) ウツギハバチ

A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 1♀; 高梁市—玉川 (May 3, '63, K) 1♀; 真庭郡
郡—新庄村 (May 24, '64, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 3♀♀; 苫田
郡—女原 (May 15, '66, K) 1♀; 新見市—棚が瀬 (Apr. 29, '63, K) 1♂

B : 「年2回以上発生」

C : ウツギ*

D : 川上郡—弥高山 (Oct. 31, '71, K) ウツギの幼虫 7 exs. → (Apr. 14~23, '72) 6
exs. · 天敵 1 ex. 羽化

33. *A. vexator* (SMITH, 1874) ツノジロホソハバチ

A : 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀; 高梁市—川面 (Sep. 15, '70, K) 3♀♀5♂
♂, 西方 (Sep. 20, '70, K) 2♀♀

B : 「年2回以上発生」

C : 「ウツギ」

34. *Allantus meridionalis* (TAKEUCHI, 1933) オオシロオビクロハバチ

A : 倉敷市—連島町 (Apr. 4, '61, K) 2♂♂; 新見市—井倉 (Apr. 29, '61, K) 1♂;
総社市—日羽 (May 6, '62, K) 2♂♂; 浅口郡—船穂町 (Apr. 25, '65, K) 2♀♀3
♂♂; 英田郡—後山 (July 29, '62, K) 1♀

B : 「年数回発生」幼虫は、12月ごろまでみられる。

C : ノイバラ*, 「バラ類 (セイヨウバラ, ヤブイバラ, モッコウバラ, オランダイ
チゴ)」

D : 御津郡—建部 (Nov. 3, '71, K) ノイバラより幼虫約15exs. → (Apr. 14~May 上
旬, '72) 11♀♀羽化; 倉敷市—連島町 (Nov. ?, '61, K) ノイバラの幼虫 → (Jan. 5,
'62) 1♀羽化, (Mar. 4, '62) 2♀♀羽化; 都窪郡—黒田 (Nov. 23, '67, K) ノイバ
ラの幼虫 → (Apr. 4~7, '68) 6♀♀羽化; 高梁市—玉川 (Apr. 12, '70, K) 屋外の
朽木中に蛹を発見 → (Apr. 23, '70) 1♀羽化, (Apr. 26, '70, M) 屋外の朽木中に
蛹を発見 → (Apr. 27, '70) 1♀羽化。以上の飼育から、営繭の際、朽木や小
い孔に入るものと、土中に入るものとあることを観察した。

35. *A. luctifer* (SMITH, 1874) ハグロハバチ

A : 倉敷市—連島町 (June 30, '60, K) 3♀♀; 玉野市—木目 (Apr. 30, '61, K) 1♂;
新見市—井倉 (May 3, '62, K) 1♀; 真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1♀

B : 「年5~6回発生」。幼虫は、12月ごろまで、スイバの葉うらにみられる。

C : スイバ*, イタドリ*, 「スイバ類 (ギシギシ, ノダイオウ)」

D : 川上郡—七地 (Sep. 27, '70, K) スイバの幼虫 1 ex. → (Apr. 25, '71) 1♀羽化;
総社市—美袋 (May 16, '69, K) イタドリの幼虫 → (June 8~12, '69) 4♀♀5♂
♂羽化。

36. *A. nigrocaerulus* (SMITH, 1874) タテハバチ

- A : 倉敷市—小黒田 (May 24, '75, K) 1♀
 C : 「ミゾソバ」
37. *Pareophora gracilis* TAKEUCHI, 1952 サクラホソハバチ
 C : 「サクラ類 (ソメイヨシノ, イヌザクラ, ウワミズザクラ, シナミザクラ)」
 D : 高梁市—大久保 (May 18, '75, K) ソメイヨシノから幼虫40exs.
38. *Taxonus fulvicornis* MATSUMURA, 1912 ツノキクロハバチ
 A : 高梁市—玉川 (May 14, '61, K) 1♀, (May 20, '62, K) 2♀♀, (May 3, '63, K) 2♂♂
 B : 「年1回発生」
 C : 「イタドリ」
39. *T. minomensis* (TAKEUCHI, 1929) ツマジロハバチモドキ
 A : 茂原郡—阿波村 June 7, '64, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「ヤブイバラ, ナワシロイチゴ, キンミズヒキ」
40. *Takeuchiella pentagona* MALAISE, 1935 ダイズハバチ
 A : 新見市—井倉 (June 9, '63, K) 1♀
 B : 「年2回? 発生」
 C : 「ダイズ類 (ツルマメ, ダイズ)」
41. *Phymatocera nipponica* TOGASHI, 1958 ヒゲナガクロハバチ
 A : 久米郡—? (June 3, '58, 竹内幸夫) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「ナルコユリ類 (アマドコロ, ナルコユリ)」
42. *Phymatoceropsis japonica* (MALAISE, 1931) ヒゲナガマルハバチ
 A : 真庭郡—湯原町 (Apr. 22, '62, K) 3♀♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「ニワトコ」
43. *Paracharactus leucopodus* ROHWER, 1910 ムネアカキアシハバチ
 A : 新見市—井倉 (Apr. 29, '63, K) 1♂; 川上郡—七地 (May 18, '70, K) 1♂; 高梁市—玉川 (May 1, '71, M) 3♂♂; 浅口郡—遙照山 (May 6, '74, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「サルトリイバラ」
44. *Monophadnus nigriceps* (SMITH, 1874) キイロハバチ
 A : 倉敷市—鶴形山 (Oct. 8, '61, K) 1♀, 連島町 (June 26, '62, K) 3♀♀
 B : 「年4~5回発生」
 C : センニンソウ
 D : 吉備郡—二万 (Oct. 2, '70, M) センニンソウの幼虫 → (Nov. 7, '70) 5♀♀1♂羽化。
45. *Nesotomostethus religiosa* (MARLATT, 1898) クロバアカマルハバチ

- A : 高梁市—玉川 (May 22, '60, K) 6♀♂；倉敷市—連島町 (June 23, '62, K) 1♀2♂
- B : 「年1回発生」
- C : 「ボタンヅル」
46. *Stethomostus fuliginosus* SCHRANK, 1781 ウマノアシガタハバチ
 A : 倉敷市—連島町 (Apr. 15, '62, K) 1♀；御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 2♀♂；
 阿哲郡—大佐町 (May 1, '66, K) 1♂
 C : 「キンボウゲ類 (ウマノアシガタ, キツネノボタン)」
47. *Megatomostethus crassicornis* (ROHWER, 1910) ヒゲブトマルハバチ
 A : 阿哲郡—荒戸山 (Aug. 13, '61, K) 1♀；総社市—日羽 (May 17, '69, K) 1♀
 B : 「年2回以上発生」
 C : 「ボタンヅル」
48. *Nipponocampa esakii* OKUTANI, 1972 サクラハマキハバチ
 A : 倉敷市—向山 (May 11, '75, K) 1♀
 B : サクラのまき葉の分布から、県下に広く分布しているものと思われる。「年1回発生」
 C : ソメイヨシノ* ヤマザクラ*
 D : 倉敷市—向山 (May 16, '74, K) ソメイヨシノのまき葉数十個→ (Apr. 13, '75) 1♀羽化；(May 11, '75, K) ソメイヨシノのまき葉約120個；苦田郡—恩原 (June 8, '75, K) ソメイヨシノのまき葉、オオヤマザクラのまき葉、津黒山 (June 29, '75, K) オオヤマザクラのまき葉
49. *Beleses satonis* (TAKEUCHI, 1929) アメイロハバチモドキ
 A : 新見市—井倉 (May 13, '62, K) 1♂
50. *Eutomostethus junivorus* (ROHWER, 1924) イハバチ
 B : 春川忠吉¹⁹⁾ (1925) によれば、「本種は、岡山県では、年2回発生を行い、結繩した中で、幼虫態で越冬する。すなわち10月末頃から翌年の4月頃まで越冬する。」と述べ、当時県下に発生していたことがわかる。
 C : 「イ類 (イ, ホソイ)」「ちょっと注意して、野生のイのあるところを探せば得られる。」

Subfamily Tenthredininae ハバチ亜科

51. *Corymbas aperta* (TAKEUCHI, 1919) コシジロハバチ
 A : 苦田郡—福見 (May 15, '66, K) 2♀♀；阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♂
 B : 県北部でわずかに記録している。「年1回発生」
 C : 「モチツツジ」
52. *C. nipponica* TAKEUCHI, 1936 フトコシジロハバチ
 A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 1♀, (Apr. 29, '61, K) 1♂；上房郡—下皆部 (Apr. 19, '64, K) 1♀；阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 2♀♀；真庭郡—新庄

村 (May 24, '64, K) 1 ♀

B : 県南での記録はまだない。「年1回発生」

C : 「キイチゴ類 (クマイチゴ, カジイチゴ, ニガイチゴ, ナワシロイチゴ), ダイコンソウ。」

53. *Siobla ferox* (SMITH, 1874) オオコシアカハバチ

A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 2 ♀♀; 高梁市—玉川町 (May 22, '60, K) 3 ♀♂; 真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1 ♀; 英田郡—若杉峰 (July 12, '64, 重井博) 1 ♀; 苫田郡—花知仙 (June 26, '66, K) 3 ♀♀

B : 県中北部に普通に産する。食草の分布から、南部でも発生しているものと思われる。「年1回発生」

C : 「ツリフネソウ類 (ツリフネソウ, キツリフネソウ), イタドリ, オカアザミ, スイバの1種。」

54. *S. metallica* TAKEUCHI, 1929 ルリコシアカハバチ

A : 真庭郡—新庄村 (June 8, '69, M) 6 ♀♂

55. *Pachyprotasis fukii* OKUTANI, 1961 フキシマハバチ

A : 真庭郡—神庭 (Apr. 1, '61, K) 1 ♀; 倉敷市—連島町 (Apr. 22, '61, K) 1 ♀ 1 ♀; 御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 1 ♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1 ♀ 2 ♀♂; 苫田郡—奥津町 (May 15, '66, K) 1 ♀; 真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1 ♀ 1 ♀; 備前市—閑谷 (Apr. 12, '64, K) 2 ♀♂

B : 早いものは3月下旬に発生し、サクラ、カエデの花に多く集まる。「年1回発生」

C : フキ*

D : 総社市—豪渓 (May 28, '72, K) フキの幼虫数十頭→(Apr. 1~12, '73) 2 ♀♀とヤドリバエ 1 ex. 羽化

56. *P. pallidiventris* MARLATT, 1898 コシマハバチ

A : 倉敷市—連島町 (Apr. 3, '60, K) 1 ♀; 都窪郡—黒田 (Apr. 5, '64, K) 1 ♀ 7 ♀♂; 総社市—美袋 (Apr. 29, '62, K) 2 ♀♀ 1 ♀; 和気郡—八塔寺 (Apr. 12, '64, K) 18 ♀♀ 7 ♀♂; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1 ♀ 1 ♀; 英田郡—福本 (Apr. 14, '68, K) 2 ♀♀ 8 ♀♂

B : サクラ、レンギョウ、カエデの花に多く集まる。「年1回発生」

C : 「ハコベ類 (ハコベ, ウシハコベ)」

57. *P. serii* OKUTANI, 1961 セリシマハバチ

A : 新見市—井倉 (May 13, '60, K) 1 ♀; 倉敷市—連島町 (Apr. 5, '62, K) 1 ♀; 吉備郡—昭和町 (Apr. 29, '62, K) 3 ♀♀ 2 ♀♂; 和気郡—八塔寺 (Apr. 12, '64, K) 2 ♀♀; 岡山市—津高 (Apr. 19, '64, K) 4 ♀♀; 阿哲郡—大佐町 (May 1, '66, K) 2 ♀♀ 3 ♀♂; 真庭郡—新庄村 (May 1, '66, K) 1 ♀; 英田郡—福本 (Apr. 14, '68, K) 1 ♀ 1 ♀; 総社市—宍粟 (Apr. 21, '68, K) 2 ♀♀

B : サクラ、カエデの花に多く集まる。「年1回発生」

C : セリ*

58. *P. erratica* SMITH, 1874 コキモンハバチ
 A : 真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1♂
 59. *Macrophya apicalis* SMITH, 1874 ツマジロクロハバチ
 A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 1♀; 高梁市—玉川 (Apr. 17, '62, K) 1♀; 苫田郡
 —花知仙 (June 26, '66, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「ニワトコ」
60. *M. carbonaria* SMITH, 1874 オオクロハバチ
 A : 高梁市—玉川 (Apr. 18, '61, K) 2♀♀; 御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 1♀; 新
 見市—井倉 (May 3, '62, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♂
 B : 県中北部に普通にみられる。
 C : ニワトコ*
 D : 苫田郡—加茂町 (July 10, '66, K) ニワトコの幼虫 → (Apr. 27, '67) 羽化
61. *M. ignava* SMITH, 1874 クロハバチ
 A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 1♂; 倉敷市—連島町 (Apr. 19, '61, K) 9♀♀1♂;
 高梁市—玉川 (May 14, '61, K) 2♀♀; 御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 1♀5♂♂;
 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 4♀♀4♂♂; 真庭郡—新庄村 (May 1, '66, K)
 1♀
 B : 4月上旬から、最もおそいもので5月下旬にかけて、県下くまなく発生がみら
 れる。特に、ノイバラのアブラムシや、カエデの花に多く集まる。「年1回発
 生」
 C : 「ヤブイバラ」
62. *M. malaisei* TAKEUCHI, 1937 マライセクロハバチ
 A : 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 2♀♀, (May 1, '66, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : イボタ*, 「ムラサキハシドイ」
 D : 倉敷市—鶴形山 (May 27~28, '72, K) イボタの幼虫 → (Mar. 30~31, '73) 12♀♀
 5♂♂羽化しているが、全体的に小さく形態上異なる点がある。
63. *M. timida* SMITH, 1874 コクロハバチ
 A : 新見市—柏 (Apr. 29, '63, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「イボタ類 (イボタ, ネズミモチ), ムラサキハシドイ」
64. *M. timida* SMITH var. *femorata* MARLATT コクロハバチ変種
 A : 新見市—井倉 (May 3, '60, K) 1♀, (Apr. 29, '61, K) 1♂
 B : 「年1回発生」
 C : 「イボタ」
 D : 後脚に赤茶色の部分があり、前種と区別しやすい。

65. *M. crassuliformis* FORSIUS, 1925 イボタクロハバチ
 A : 高梁市—玉川 (May 22, '60, K) 1♀; 苫田郡—阿波村 (Apr. 7, '64, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 6♀♀; 真庭郡—新庄村 (July 24, '66, K) 2♀♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「イボタ」
 D : 成虫は死ぬと青色紋は黄変する。
66. *M. falsifica* MOCΣARY, 1909 シマクロハバチ
 A : 真庭郡—新庄村 (July 24, '66, K) 1♀2♂♂
 B : 「年1回発生」
67. *M. enslini* FORSIUS, 1925 ナカジロクロハバチ
 A : 阿哲郡—哲多町 (May 25, '75, K) 3♀♀
 C : 「イボタ」
 D : 生時は、腹端の白紋がよく目立つ。
68. *Aglaostigma albicincta* (TAKEUCHI, 1953) ウラシマゾウハバチ
 A : 総社市—美袋 (Apr. 29, '62, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「テンナンショウ類 (ウラシマゾウ, マムシグサ)」
69. *A. occipitosa* (MALAISE, 1931) ハラアカアシナガハバチ
 A : 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀1♂; 真庭郡—新庄村 (May 31, '70, K) 2♂♂, (May 30, '71, K) 5♀♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「シラネセンキュウ, フキ。その他のシシウド類も食うらしい。」
70. *A. helvicineta* TOGASHI, 1970
 A : 新見市—谷合 (May 2, '65, M) 4♀♀
71. *Lagidina irritans* (SMITH, 1874) クロムネハバチ
 A : 都窪郡—黒田 (May 10, '59, K) 1♂; 新見市—井倉 (May 3, '60, K) 1♂; 倉敷市—連島町 (May 27, '60, K) 1♀; 高梁市—玉川 (May 14, '61, K) 1♂
 B : 県内のものは、中南部の記録しかないが、鳥取県では、大山で記録があり、県北にも分布するものと思われる。「年1回発生」
 C : 「カキドウシ」
 D : 成虫の色彩は、変化に富み、黒化しているものもある。幼虫は、とれるが、飼育にたびたび失敗している。
72. *L. platycerus* (MARLATT, 1898) ヒゲナガハバチ
 A : 倉敷市—連島町 (May 18, '60, K) 1♂; 高梁市—玉川 (June 6, '66, K) 1♂; 都窪郡—黒田 (May 16, '60, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
 C : 「スミレ類 (スミレ, ニヨイスミレでよくそだつが, 自然状態の食草は不明)」
 D : 倉敷市—由加山 (May 19, '74, 宇野弘之) 2♀♀ マツクイムシ防除のための薬剤

散布で落下したものを採集。

73. *Perineura japonica* MALAISE, 1931

A : 高梁市—臥牛山 (May 5, '65, K) 1♂

74. *Rhogogaster nigriventris* MALAISE, 1931 セマダラハバチ

A : 新見市—井倉 (May 3, '60, K) 1♀1♂; 児島郡—彦崎 (May 5, '62, K) 1♀; 上房郡一下皆部 (Apr. 19, '64, K) 1♀2♂; 真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1♀

B : 「年1回発生」

C : 「バラの1種 (ヤブイバラ?)」

75. *Propodea fentonii* (KIRBY, 1882) ツマグロハバチ

A : 都窪郡—黒田 (Aug. ?, '51, K) 1♀; 倉敷市—連島町 (May 27, '60, K) 1♀; 新見市—井倉 (May 17, '64, K) 1♀; 英田郡—後山 (July 29, '62, K) 1♂

B : 点々としか採集できない。「年1回発生」

C : 「フサザクラ, フサザクラのないところでも得られるから, 他の食草があると思われる。」

76. *Jermakia sibirica* (KRIECHBAUMER, 1869) フタオビハバチ

A : 英田郡—後山 (July 29, '62, K) 1♀; 真庭郡—蒜山 (Aug. 9, '70, K) 2♀♀, (Aug. 1, '71, K) 1♂; 苫田郡—倉見 (Aug. 14, '75, M) 1♀

B : 「年1回発生」

D : リョウブ, イタドリの花で採集できる。

77. *Tenthredina fortunei* (KIRBY, 1882) トガリハチガタハバチ

A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀; 川上郡—羽山渓 (June 10, '62, K) 1♀; 真庭郡—新庄村 (May 26, '63, K) 1♀

B : 県中北部で記録されているが, ♂はまだ採集例がない。「年1回発生」

C : 「ヤマホトトギス, ササユリ, ウバユリ, シオデ類(シオデ, サルトリイバラ)」

78. *Tenthredo cylindrica* ROHWER, 1911 フトハチガタハバチ

A : 新見市—井倉 (May 6, '62, 大野憲一) 1♂

B : 前種にくらべてあまり多くない。「年1回発生」

79. *T. nigropicta* (SMITH, 1874) クロムネアオハバチ

A : 都窪郡—黒田 (May 11, '52, K) 1♀; 児島郡—彦崎 (May 5, '62, K) 2♀♀1♂; 高梁市—玉川 (May 20, '62, K) 2♂; 新見市—井倉 (May 17, '64, K) 1♀; 真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1♀; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 1♀1♂; 苫田郡—福見 (May 15, '66, K) 2♀♀2♂

B : 県下に広く分布している。「年1回発生」

C : 「ネザサ, 他のササ類も食うと思う。」

80. *T. analis* (ANDRÉ, 1881) マエグロコシボゾハバチ

A : 新見市—井倉 (May 3, '62, K) 2♀♀5♂; 英田郡—後山 (July 29, '62, K) 1♀;

御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 2♂; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 3♂

B : 「年1回発生」

- C : 「ツクバネウツギ類 (コツクバネウツギ, ツクバネウツギ)」
D : カエデの花でとれる。
81. *T. fagi facigera* KONOW, 1899 オオツマジロハバチ
A : 苛田郡—阿波村 (June 7, '64, K) 1♀; 花知仙 (June 26, '66, K) 1♀, 倉見 (July 10, '66, K) 1♀
B : 「年1回発生」
C : 「シシウド」
82. *T. fukaii* (ROHWER, 1910) ヤマブキハバチ
A : 総社市—美袋 (Apr. 29, '62, K) 1♀; 新見市—井倉 (May 3, '62, K) 7♀♀; 御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 2♀♀2♂♂; 阿哲郡—大佐町 (May 30, '65, K) 3♀♀1♂; 真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1♀
B : 4月中旬から5月下旬にかけて、県下に広く発生する。特にカエデの花によく集まる。「年1回発生」
C : 「ヤマブキ」
83. *T. hilaris* SMITH, 1874 ハラナガクロハバチ
A : 新見市—井倉 (May 3, '59, K) 1♀1♂; 真庭郡—蒜山 (May 24, '64, K) 1♀; 高梁市—玉川 (June 6, '66, K) 1♀; 苛田郡—花知仙 (June 26, '66, K) 1♀
B : 「年1回発生」
C : 「アオキ」
84. *T. gifui* MARLATT, 1898 コシアキハバチ
A : 倉敷市—連島町 (Apr. 27, '62, K) 6♂♂; 高梁市—玉川 (May 3, '63, K) 1♂; 倉敷市—福井 (Apr. 27, '65, K) 2♀♀1♂; 苛田郡—花知仙 (June 26, '66, K) 1♂; 真庭郡—新庄村 (July 24, '66, K) 1♂
B : 「年1回発生」
C : 「ハコベ類 (ウシハコベ, ハコベ)」
85. *T. mortivaga* MARLATT, 1898 キコシホソハバチ
A : 総社市—美袋 (Apr. 29, '62, K) 2♀♀3♂♂; 岡山市—津高 (Apr. 19, '64, K) 2♀♀2♂♂; 上房郡—下皆部 (Apr. 19, '64, K) 1♂; 御津郡—宇甘 (Apr. 19, '64, K) 2♂♂
B : 4月中旬から5月上旬にかけて、県中南部で記録している。多くは、カエデの花に集まっていた。「年1回発生」
C : 「ハコベ類 (ハコベ, ウシハコベ), ミミナグサ」
86. *T. nigerima* FORSIUS, 1918 フキノハクロハバチ
A : 苛田郡—阿波村 (June 7, '64, K) 1♀
B : 「年1回発生」
C : 「フキ」
87. *T. providens* SMITH, 1874 オオツマグロハバチ
A : 倉敷市—連島町 (May 24, '61, K) 1♀; 高梁市—玉川 (May 20, '60, K) 2♀♀

- B : 「年1回発生」
 C : 「ミツバ、ノダケ、シシウド？、セリ科を広く食うらしい。」
88. *T. Okamotoi* INOMATA, 1967 ミカエリソウハバチ
 A : 苫田郡—阿波村 (June 7, '64, K) 1♀ 3♂ ; 真庭郡—新庄村 (May 31, '70, K) 2♂
 B : 「年1回発生」
 C : 「ミカエリソウ」
89. *T. japonica* (MOCSÁRY, 1909) アオコシホソハバチ
 A : 英田郡—若杉峠 (July 12, '64, 重井博) 1♀
 B : 近県では、大山、剣山で採集している。山地性のハバチといえる。「年1回発生」
 D : 成虫は死ぬと青色から黄色に変わる。
90. *T. versuta* MOCSARY, 1909 ハコネハバチ
 A : 苫田郡—阿波村 (June 7, '64, K) 1♀
91. *T. jonoensis* MATSUMURA, 1912 ジョウノハバチ
 A : 英田郡—後山 (July 29, '62, K) 1♀
 B : 「年1回発生」
92. *T. rubrocaudata* (TAKEUCHI, 1936) シリアカセグロハバチ
 A : 苫田郡—上斎原 (May 16, '71, 那須敏) 1♀
 B : 「本州高山帯に産する」「年1回発生」
93. *T. viridatrix* MALAISE, 1931 トゲムネアオハバチ
 A : 苫田郡—上斎原 (Sep. 2, '67, 安江安宣) 1♂
 B : 「年1回発生」

参 考 文 献

- 1) 奥谷禎一 (1967), 日本産広腰亜目 (膜翅目) の食草 (II) (応動昆, Vol. 11, No. 3, P. 90~99)
- 2) ——— (1960), 日本産広腰亜目の食草 (III) (応動昆, Vol. 14, No. 1, P. 25~28)
- 3) ——— (1959), 日本幼虫図鑑 (北隆館 P. 556~576)
- 4) ——— (1974), 中国山脈東端の昆虫相 (東中国山地自然環境調査報告 P. 173~233)
- 5) 近藤光宏 (1960), ハバチ第一報 (すずむし, 10(1))
- 6) ——— (1961), *Sympyta* (広腰亜目) 第二報 (すずむし, 11(2))
- 7) ——— (1961), 科学作品展の中から *Sympyta* (広腰亜目) 及び, 2~3の *Apolcrita* (細腰亜目) (すずむし, 11(2))
- 8) ——— (1962), *Sympyta* 第三報 (すずむし, 11(4))
- 9) ——— (1962), 兵庫農大奥谷先生からの御依頼 (すずむし, 11(4))

- 10) ——— (1962), 井倉のフトコシジロハバチ (すずむし, 11(4))
 - 11) ——— (1962), ジュウジ科植物を害するハバチ三種の発生状況 (すずむし, 12(3))
 - 12) ——— (1962), 今年の科学作品展に見られた蜂 2・3 (すずむし, 12(4))
 - 13) ——— (1964), 1年ぶりに羽化したヒラアシハバチ (すずむし, 13(4))
 - 14) ——— (1970), オオシロオビクロハバチの生態断片 (すずむし, 18(2))
 - 15) ——— (1971), ウツギハバチ *Asiemphytus* 属 3種とも県内に産す (すずむし, 20(2))
 - 16) 重井博・青野孝昭・小野洋・近藤光宏・林憲一 (1963), 新庄村の昆虫調査報告 (その 1) (すずむし, 13(2))
 - 17) 竹内吉蔵 (1955), 原色日本昆虫図鑑 (保育社, 下 P. 118~126)
 - 18) 富権一次 (1965), 原色昆虫大図鑑 (北隆館, Vol. 3, P. 245~252)
 - 19) 春川忠吉 (1925), 蘭葉蜂の休眠 (昆虫, Vol. 2, No. 4)
-

イシガケチョウの幼虫を倉敷市六口島にて観察

1975年7月26日、倉敷市六口島へ海水浴に行った際、イヌビワより本種の幼虫を2頭観察した。すずむし、No.108、「岡山県の蝶」によると、岡山県下の記録が少ないので報告しておきます。発表するに当り御教示いただいた難波通孝氏に御礼申し上げます。

(富永 栄作)

ハヤシミドリシジミの1産卵例

ハヤシミドリシジミ *Favonius ultramarinus hayashii* SHIRÖZU の産卵位置については、小枝上又は小枝分岐部に産卵されることが多いが、筆者は阿哲郡神郷町にて、8.V.'73. にカシワの葉裏基部付近に産卵されているものを2例採集した。珍らしい産卵例と思うので報告しておきます。

(藤原 敏栄)

岡山県未記録の蛾

宇野弘之（倉敷市浅原836）

楳本精二（倉敷市林476の3）

1975年8月までに採集同定した蛾のうちに、つぎの岡山県未記録種があったので報告する。写真により同定して頂いた杉繁郎氏に感謝します。標本は採集者が各人で保管している。

記

Sphingidae スズメガ科

1. *Dolbina exacta* STAUDINGER ヒメザナミスズメ

28. V. 1975 新見市井倉 宇野弘之 (H. U.)

サザナミスズメと混じて採集されており、同定には注意を要する。

2. *Oxambulyx* sp. セトウチホソバスズメ

15. V. 1975 倉敷市由加山 H. U.

登日邦明により蛾類通信73号に発表されたもので、従来発表されたホソバスズメについて再検討をする。香川県では真のホソバスズメは少いとの報文がある。

Arctiidae ヒトリガ科

Arctiinae コケガ亜科

3. *Conilepia nigricosta* LEECH マエグロホソバ

18. VI. 1975 倉敷市浅原 H. U.

Noctuidae ヤガ科

Apatelinae ケンモン亜科

4. *Apatele catocaloides* GRAESER キシタケンモン

12. VI. 1975 阿哲郡神郷町新郷駅 楠本精二 (S. M.) ; 28. VI. 1975 苫田郡上斎原村天王 H. U.

近県に記録なし。

5. *Apatele digna* BUTLER クビグロケンモン

31. III. 1973 倉敷市福江 S. M.

Hadeninae ヨトウガ亜科

6. *Perigrapha hönei* PUNGEALER スギタニキリガ
4. III. 1975 倉敷市三田 H. U.
7. *Mythimna (Leucania) postica* HAMPSON アカスジキヨトウ
28. V. 1975 新郷駅 H. U.
Amphipyrinae カラスヨトウ亜科
8. *Apamea crenata* HUFNAGEL カドモンヨトウ
28. VI. 1975 苫田郡上斎原村人形峠 H. U.
近県に記録なし。
9. *Apamea sodalis* BUTLER チャイロカドモンヨトウ
13. IX. 1974 浅原 H. U.
10. *Apamea conciliata* BUTLER アオフシラクモヨトウ
3. VII. 1975 新郷駅 S. M.
11. *Luperina sapporensis* MATSUMURA サッポロチャイロヨトウ
23. VI. 1966 倉敷市林 S. M.
写真により杉同定。
12. *Prometopus flavicollis* LEECH キクビヒメヨトウ
28. V. 1975 新郷駅 H. U.
Euteliinae フサヤガ亜科
13. *Eutelia grabczewskii* PUNGEALER ニッコウフサヤガ
12. VI. 1975 井倉 S. M.
Eustrotiinae コヤガ亜科
14. *Lithacodia senex* BUTLER クロモンコヤガ
12. VI. 1975 新郷駅 S. M.
15. *Lithacodia brunea* LEECH トビモンコヤガ
4. IX. 1970 倉敷市尾原 S. M.
16. *Bryophilina blandula* STAUDINGER ウスアオモンコヤガ
28. VI. 1975 天王 H. U.
17. *Perynea subrosea* BUTLER ウスベニコヤガ
29. VII. 1975 新郷駅 S. M.
Plusiinae ウワバガ亜科
18. *Plusia nadeja* OBERTHUR コヒサゴキンウワバ
29. VII. 1975 新郷駅 S. M.
19. *Abrostola trigemina* WERNEBURG イラクサマダラウワバ
28. V. 1975 井倉 H. U.
Catocalinae シタバガ亜科
20. *Scoliopteryx libatrix* LINNAEUS ハガタキリバ
29. VI. 1975 苫田郡上斎原村宮ヶ谷 H. U.
Hypeninae アツバ亜科

21. *Hypena belinda* BUTLER ヒロバチビトガリアツバ
 21. IX. 1969 総社市楓 S. M.
 近県に記録なし。写真により杉同定。
22. *Hypena hampsonialis* WILEMAN オオトビモンアツバ
 6. IV. 1975 岡山市高松町太閤岩 H. U.
 先に植本がすずむし16(2-4):46-59で発表したものは、ソトムラサキアツバと判明したので訂正する。

Notodontidae シャチホコガ科

23. *Gangaridopsis citrina* WILEMAN アカシャチホコ
 12. VI. 1975 新郷駅 S. M.; 28. VI. 1975 天王 H. U.
24. *Cnethodonta baibarana* MATSUMURA バイバラシロシャチホコ
 3. VII. 1975 新郷駅 S. M.
 シロシャチホコと非常によく似ており、第8腹節の腹板の形により分類するのがよい。従来のシロシャチホコの中に混入していると思われるので再検討を要する。

Bombycidae カイコガ科

25. *Oberthuria falcigera* BUTLER オオクワゴモドキ
 31. VIII. 1968 真庭郡湯原町 浮田美勝 (Y. U.)

Geometridae シャクガ科

Geometrinae アオシャク亜科

26. *Timandromorpha discolor enervata* INOUE ノコバアオシャク
 14. VIII. 1970 真庭郡湯原町湯原ダム 中村具見
27. *Geometra (Megalochlora) ussuriensis* SAUBER マエモンシロオビアオシャク
 17. VI. 1975 倉敷市西富井 H. U.

Sterrhinae ヒメシャク亜科

28. *Problepsis minota* INOUE コヒトツメオオシロヒメシャク
 18. IX. 1969 御津郡建部町旭川ダム Y. U.

Larentiinae ナミシャク亜科

29. *Leptostegna tenerata* CHRISTOPH アオナミシャク
 29. VI. 1975 宮ヶ谷 H. U.
30. *Electophaës corylata granitalis* BUTLER キンオビナミシャク
 8. VI. 1975 苦田郡上斎原村恩原川 H. U.
31. *Calocalpe flavipes flavipes* MÉNÉTRIÈS オイワケヤエナミシャク
 8. VI. 1975 恩原川 H. U.
 近県に記録なし。
32. *Telenomeuta punctimarginaria* LEECH テンヅマナミシャク
 12. VI. 1975 新郷駅 S. M.; 28. VI. 1975 人形峠 H. U.

33. *Lobogonodes complicata complicata* BUTLER ホソスジナミシャク
3. V. 1975 倉敷市鶴形山 H. U.
34. *Dysstroma korbi* HEYDEMANN マエキナカジロナミシャク
16. VI. 1968 岡山市金甲山 Y. U.
近県に記録なし。
35. *Pseudostegania defectata* CHRISTOPH キイロナミシャク
29. VI. 1975 苫田郡上斎原村中津河岩井滝 H. U.
36. *Eupithecia proterva* BUTLER ウスカバナミシャク
4. IV. 1975 浅原; 6. IV. 1975 太閤岩; 9. IV. 1975 浅原 H. U.
37. *Eupithecia emanata* DIETZE クロテンカバナミシャク
12. IV. 1975; 15. IV. 1975 浅原 H. U.
38. *Chloroclystis rectangulata* LINNAEUS リンゴアオナミシャク
26. IV. 1975 由加山 H. U.
39. *Chloroclystis obscura* WEST ハラアカウスアオナミシャク
26. IV. 1975 尾原 H. U.
40. *Echthrocollix minuta* BUTLER アオスジナミシャク
26. IV. 1975 由加山 H. U.
Ennominae エダシャク亜科
41. *Ligdia japonaria* LEECH シロスジヒメエダシャク
23. IV. 1971 旭川ダム S. M.
42. *Semiothisa (Ligdiformia) pryeri* BUTLER フトスジオエダシャク
18. VI. 1975 浅原 H. U.
近県に記録なし。
43. *Cleora insolita* BUTLER ルリモンエダシャク
8. VI. 1975 恩原川 H. U.
近県に記録なし。
44. *Ectropis extersaria obscurior* STAUDINGER シロモンキエダシャク
28. VI. 1975 天王 H. U.
近県に記録なし。
45. *Racotis boarmiaria japonica* INOUE ホシミスジエダシャク
29. VI. 1968 金甲山 Y. U.

Psychidae ミノガ科

46. Gen. et sp. クロツヤミノガ
24. V. 1975 浅原 H. U.

Thyrididae マドガ科

47. *Rhodoneura erecta* LEECH チビマダラマドガ
26. VI. 1971 尾原 S. M.

48. *Rhodoneura sugitanii* MATSUMURA スギタニマドガ
8. VII. 1975 岡山市神道山 H. U.

Pyralididae メイガ科

Crambinae ツトガ亜科

49. *Crambus virgatellus* WILEMAN アトキマエジロツトガ
18. IV. 1975 浅原; 30. IV. 1975 浅原; 2. V. 1975 浅原 H. U.
50. *Platytes ornatella* LEECH ナガハマツトガ
9. IX. 1970 尾原 S. M.

Phycitinae マダラメイガ亜科

51. *Nephopteryx mikadella* RAGONOT ミカドマダラメイガ
8. VIII. 1975 神道山 H. U.
52. *Etiella zinckenella* TREITSCHKE シロイチモジマダラメイガ
2. XI. 1967 岡山市西大寺向州 Y. U.

Epipaschiinae フトメイガ亜科

53. *Orthaga onerata* BUTLER ネアオフトメイガ
16. VII. 1975 新郷駅 H. U.
Pyraustinae ノメイガ亜科
54. *Nacoleia maculalis* SOUTH クロフキノメイガ
28. V. 1975 新見市足立 H. U.
55. *Syllepte deficiens* MOORE シロハラノメイガ
29. VI. 1975 中津河岩井滝 H. U.
56. *Loxostega verticalis* LINNAEUS クロミヤクキノメイガ
12. VI. 1975 新郷駅 S. M.

57. *Microstega jessica* BUTLER ウスオビキノメイガ
21. IV. 1975 浅原 H. U.
58. *Ostrinia zealis centralis* MUNROE et MUTUURA
5. VII. 1975 浅原; 6. VII. 1975 浅原 H. U.

Olethreutidae ヒメハマキガ科

Olethreutinae ヒメハマキガ亜科

59. *Laspeyresia kurokoi* AMSEL クリミガ
21. IX. 1970 尾原; 23. IX. 1970 倉敷市児島柳田町 S. M.
近県に記録なし。
60. *Gravitarmata margarotana* HEINRICH マツトビヒメハマキ
21. V. 1975 岡山市稻荷山; 13. VII. 1975 倉敷市西岡 H. U.
61. *Pelataea bicolor* WALSHINGHAM ヒロオビヒメハマキ
9. VI. 1971 尾原 S. M.

62. *Rhopobota latipennis* WALSINGHAM カドオビハマキ
8.VI.1975 苫田郡上齋原村恩原湖 H. U.
63. *Apotomis lacteifascies* WALSINGHAM シロスジヒメハマキ
26.IV.1975 尾原 H. U.
64. *Saliciphaga acharis* BUTLER ヤナギサザナミヒメハマキ
18.VI.1975 浅原; 6.VII.1975 浅原 H. U.
65. *Hedya inornata* WALSINGHAM ムジヒメハマキ
18.VI.1971 井倉 S. M.
近県に記録なし。

Oecophoridae マルハキバガ科

66. *Cryptolechia malacobyrsa* MEYRICK ホソキバキマルハキバガ
10.VII.1975 浅原 H. U.
67. *Depressaria heracliana* LINNAEUS ウスマダラマルハキバガ
14.IV.1975 浅原; 15.IV.1975 浅原 H. U.

Hyponomeutidae スガ科

68. *Yponomeuta mochlocrossus* MEYRICK ツマグロハイイロスガ
30.IV.1975 西富井 H. U.

Tineidae ヒロズコガ科

69. *Atabrygia bucephala* SNELLEN アトモンヒロズコガ
2.IX.1974 浅原 H. U.

倉敷市内でナガサキアゲハ春型の目撃

ナガサキアゲハの倉敷市街地での夏型の目撃記録は一例あるが（中央, Sep. 18, '51, 1♀, アサガオ訪花中, 山川東平）筆者は春型を目撃したので報告する。

1. May 1, '75, 1♂, 中央一丁目, 倉敷西小学校内, ゼラニュームに訪花。
2. May 10, '75, 1♀, 美和二丁目, 民家のザクロに訪花。

(尾塔 順三)

ベニモンカラスシジミの訪花

本種の訪花植物としてはウツギが知られているが, 筆者は1974年6月2日, 新見市石蟹にてツルマサキの花に3♀2♂が吸蜜に訪れたのを採集したので報告する。

(尾塔 順三)

岡山県のゼフィルス

(その採卵と飼育)

難波通孝

(岡山市北長瀬434)

県内産ゼフィルスについては1963年に“すずむし” Vol. 13, No. 3において4種の飼育例を報告し、又、1972年の“すずむし”第108号、「岡山県の蝶」において採卵記録とその食樹について報告してきた。今回は一部前回の発表と採卵地、及び採卵樹について重複するが、産卵状況と飼育例、及び飼育によって得た幼生期の習性を合わせて記録に残しておく。

又、県内においては比較的珍しい種については飼育により羽化した個体の写真を添えた。本文に先立ち採卵に際し、現地への案内など多大な協力をしていただいた道信順氏、福田元信氏、又日頃何かとお世話になる光畠之彦氏と飼育について御教示していただいた宮川和夫氏には厚くお礼申し上げます。

I 産卵状況

(1) アカシジミ *Japonica lutea* HEWITSON

食樹の小枝分岐点（径1cm～1.5cm）上部が大多数で小枝の節、休眠芽基部に産卵されている場合もある。個数は1卵ずつで、必ず卵の表面は汚れており、ミドリシジミ類の中では最も採卵が難しい部類と思う。

(2) ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* HEWITSON

産卵位置は前種アカシジミと同じで、特に変った点は見い出しえない。

(3) ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana* BUTLER

食樹の幹上、又は裂目内側に数卵かためて産卵していた。

岡山市金山（ヤマトアオダモ、5卵、14.II.'71）

(4) ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri* MURRAY

食樹の高さには関係なく50cm位の木にも良く産卵している。小枝分岐点から幹にかけ、3卵～20卵までの卵塊を確認している。又、産卵されているイボタの木近くには必ず、川が流れている。

岡山市金山（イボタ、20卵、5.I.'64）

岡山県高梁市広瀬（イボタ、5卵、28.II.'71）

(5) ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia* BREMER

大部分は食樹の小枝分岐点下部であり、次に分岐点上部に産卵されており、小枝上の

裂目、又休眠芽基部にも少数ながら確認できた。産卵個数は1卵の場合が最も多く最高4卵も認めた。

(6) ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* FENTON

食樹の幹裂目内側がほとんどで地上1m～3m位が多く、太陽光線の当らない側に産卵し、母蝶はある程度木を選ぶらしく、数卵見つけると、その幹を下からずっと捜すと地上1m～3m位の間に同じ側でかなり採卵できる場合が多く、他の木で1ヶ所のみ産卵されているケースをほとんど見ない為である。

岡山県高梁市大成（ナラガシワ、20卵、12.I.'64）

岡山県高梁市下切（ナラガシワ、38卵、14.III.'71）

(7) オナガシジミ *Araragi enthea* JANSON

採卵した所は比較的小さなオニグルミの木が多く、採集は容易であった。位置は頂芽基部、枝上休眠芽基部が大多数で卵はくっきりと目立ち、この場合の多くは1卵であった。又小枝分岐点にも産卵されており、この場合は2卵～3卵を1ヶ所に産卵されているのを確認した。

岡山県苦田郡阿波村落合（オニグルミ、26卵、25.IV.'71）

(8) ウラミスジシジミ *Wagimo signata quercivora* STAUDINGER

4卵しか採卵していないが、いづれもコナラの小木であり、頂芽基部に1卵が2ヶ所2卵を1ヶ所認めている。

岡山県新見市草間（コナラ、1卵、7.III.'71）

岡山県新見市草間（コナラ、3卵、8.I.'72）

(9) ウラクロシジミ *Iratsume orsedice* BUTLER

発生地には小道と小川の両斜面にアツマンサクが多く、採卵したのは日当たりの良い斜面で、2.5m位の木1本である。この木より13卵を得たが、他の木よりは1卵も見いだせなかった。付近にはいたる所にアツマンサクは自生していたが、母蝶は良い条件の食樹を選ぶものと推定される。産卵位置はすべて頂芽基部で1卵ずつであった。

岡山県苦田郡上斎原村恩原（アツマンサク、13卵、27.III.'71）

(10) オオミドリシジミ *Favonius orientalis* MURRAY

食樹は小さなものによく産卵し、小枝分岐点がほとんどである。現在までの観察ではコナラより卵、及び終令幼虫を見い出しており、コナラを一番好むようと思われる。

(11) エゾミドリシジミ *Favonius jezoensis* MATSUMURA

採卵した場所は山の谷間で、かなり高いミズナラの小枝分岐点上部である。谷間に向って上方へ張り出した枝より採卵した。幸にも伐採している所に出合い得たもので、普通の場合だと高く採卵は難しいものと思う。

岡山県苦田郡上斎原村中津河（ミズナラ、10卵、11.IV.'71）

(12) ハヤシミドリシジミ *Favonius ultramarinus hayashii* SHIRÔZU

採卵地はカシワ林で、その樹高も比較的低く、又積雪が1m以上もあったので、これが幸となりミドリシジミ類の採卵としては楽であった。

産卵位置は小枝分岐点上部がほとんどで、次に小枝上に産卵されているもの多かつ

た。その他は小枝裂目、枝上休眠芽基部にも産卵され、頂芽基部からも1卵得た。個数は2卵のものはかなりあり、最高は4卵を認めた。

岡山県苦田郡上斎原村（カシワ、35卵、27. III. '71）

(13) ヒロオビミドリシジミ *Favonius latifasciatus* SHIRÔZU et HAYASHI

棲息地はナラガシワがよく自生しており、ウラジロミドリシジミと混棲している。産卵位置は小枝分岐部で、幹（直径5cm～7cm）の裂目、幹上の休眠芽付近にも見い出された。個数はほとんどが1卵で、稀に2卵も確認出来た。

岡山県高梁市大成（ナラガシワ、6卵、12. I. '64）

岡山県高梁市下切（ナラガシワ、2卵、28. II. '71）

岡山県新見市草間（ナラガシワ、4卵、14. III. '71）

(14) ウラジロミドリシジミ *Favonius saphirinus* STAUDINGER

棲息地はナラガシワが多い所であるが、大きな木が1本離れていても発生はしている。産卵の多くは小枝分岐点の上部と下部に産まれ、稀に小枝上の裂目に見い出され、枝上休眠芽基部からも1卵採集した。産卵個数は1卵か2卵が多く、最高は6卵であった。

岡山県高梁市大成（ナラガシワ、12卵、12. I. '64）

岡山県高梁市広瀬（ナラガシワ、14卵、8. II. '71）

岡山県赤磐郡吉井町（ナラガシワ、6卵、11. II. '71）

岡山県新見市草間（ナラガシワ、3卵、7. III. '71）

(15) メスアカミドリシジミ *Neozephyrus smaragdinus* BREMER

採卵樹であるエドヒガンのすぐそばには小川が流れており、高さ4m位の木であったが、産卵されていたのは比較的低い枝であった。産卵位置は小枝（径1cm位まで）の分岐点下部であった。産卵個数は1卵と2卵。

岡山県苦田郡泉山中林（エドヒガン、3卵、28. III. '71）

(16) ミドリシジミ *Neozephyrus taxila japonicus* MURRAY

食樹はハンノキとヤマハンノキであり、湿地性であるので、池又は川の付近である。産卵位置は小枝分岐点下部が多く、大枝及び幹上にも産卵され、この場合は卵塊を作ることが多い。最高10卵を確認している。

岡山県苦田郡上斎原村（ヤマハンノキ、16卵、27. III. '71）

II 飼育記録

次に示す記録はすべて1971年のものであり、飼育地は岡山市内、飼育瓶を使用した。尚越冬卵は孵化するまえまでは屋外に放置し孵化後飼育瓶に移した。

一飼育例 その1

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
ウラキンシジミ	1. IV	6. IV	12. IV	19. IV	3. V	22. V	♀	ヤマトアオダモ
	2. IV	7. IV	14. IV	19. IV	29. IV	18. V	♀	

平均幼虫期約30日、蛹期約20日、1齢幼虫はまだ開いていない新芽に食い込み1眠は

葉裏で行ない、3眠も葉裏にて行なった。通常中齢以降の幼虫は葉裏先端近くにいる。終齢幼虫は体長16mm内外となり、蛹化は添え木に行なった。蛹の体長は11mm内外であった。

一飼育例 その2

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
ウスイロオナガシジミ	5. IV	12. IV	17. IV	23. IV	2. V	21. V	♂	アベマキ
	6. IV	13. IV		26. IV	9. V	24. V	♀	アベマキ
	7. IV	12. IV	20. IV	25. IV	5. V	22. V	♂	アベマキ
	8. IV	13. IV	20. IV	25. IV	6. V	23. V	♀	アベマキ
	9. IV	13. IV	20. IV	25. IV	6. V	23. V	♀	ナラガシワ

飼育例その2では、平均幼虫期約27日±29日、蛹期約18日±17日、幼虫は多く葉上におり、眠起は葉より離れて行ない、終齢幼虫末期には体長17mm内外となり、後茶褐色に変色する。蛹化は添え木にし、上向きが多かった。

蛹の体長は10mm~11mmであった。

一飼育例 その3

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
オナガシジミ	推定 20. IV	1. V	9. V	15. V	28. V	13. VI	♂	オニグルミ
	々	2. V	9. V	17. V	28. V	14. VI	♂	々
	々		9. V	17. V	28. V	15. VI	♀	々
	々	2. V	11. V	18. V	30. V	15. VI	♀	々
	々	2. V	11. V	17. V	30. V	15. VI	♀	々
	々	2. V	9. V	18. V	30. V	16. VI	♂	々
	々	2. V	11. V	18. V	31. V	16. VI	♀	々

飼育例3では、平均幼虫期推定39日±40日、蛹期約17日±17日、25. IV. '71、に1齢幼虫を採集し、孵化は野外で4月20日頃と推定したので、幼虫期は推定期間を参考までに記載した。野外にて1齢幼虫を採集した観察では、すべての幼虫はまだ開いていない新芽に食い込んでおり、すでに孵化後の卵がある先端には、ほとんど見い出された。若齢幼虫は葉脈を残して食す。幼虫の多くは葉表にいることが多く、眠起の時は葉より離れて行ない、終齢幼虫は体長17mm内外に達し、蛹の体長は10mm内外であった。

一飼育例 その4

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
ウラミスジシジミ	4. IV	9. IV	15. IV	22. IV	4. V	23. V	♀	コナラ

幼虫期30日、蛹期19日、終齢幼虫のあの独特な形を示しはじめるのは2眠を終えてからである。葉表にいることがほとんどで終齢幼虫は体長18mm内外となり、末期には色が黒ずんでくると前蛹となる。蛹化は添え木に行ない、体長11mm強であった。

一飼育例 その5

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
ウラクロシジミ	10. IV	16. IV	21. IV	27. IV	5. V	18. V	♀	アテツマンサク
	10. IV	15. IV	21. IV	26. IV	6. V	18. V	♀	タ
	12. IV	18. IV	23. IV	28. IV	8. V	19. V	♀	タ

平均幼虫期約26日、蛹期約12日、若齢幼虫は葉裏の脈の間にひそみ、いたるところに穴をあけ食す。幼虫はほとんど葉裏に静止し、若齢の眠起は葉裏基部にて行ない、中齢以後は葉裏で行なう。終齢幼虫は体長17mm内外に達し、蛹化は葉裏にて行ない、蛹の体長は10mm内外であった。

一飼育例 その6

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
エゾミドリシジミ	19. IV	23. IV	27. IV	3. V	10. V	24. V	♂	ナラガシワ

幼虫期21日、蛹期14日、幼虫は葉表より食することがほとんどで、それ以外の時は葉の基部とか小枝に静止していた。終齢幼虫は体長19mm内外に達し、蛹化は添え木に上向きに行なった。蛹の体長は12mm内外であった。

一飼育例 その7

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
ハヤシミドリシジミ	23. IV				14. V	31. V	♂	ナラガシワ
	23. IV	27. IV			16. V	2. VI	♂	タ

平均幼虫期約22日、蛹期約17日、1眠起は葉より離れて行なった。終齢幼虫は体長19mm内外となり、蛹は添え木に行ない、体長12mm内外であった。

一飼育例 その8

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
ウラジロミドリシジミ	4. IV	9. IV	16. IV	22. IV	30. IV	18. V	♂	アベマキ
	10. IV	15. IV	20. IV	25. IV	4. V	21. V	♂	ナラガシワ

平均幼虫期約25日、蛹期約18日、若齢幼虫の眠起は葉より別の所にて行なう。終齢幼虫は体長18mm内外に達し、蛹は11mm強であった。

一飼育例 その9

和名	孵化	1眠起	2眠起	3眠起	蛹化	羽化	性別	食飼植物
メスアカミドリシジミ				24. IV	3. V	18. V	♂	エドヒガシ

若齢幼虫採集の為幼虫期不明、蛹化は15日、葉裏基部にて3眠起を行ない、終齢幼虫は葉裏にて先端より食していた。終齢幼虫は体長19mm内外に達し、添え木に下向きで蛹化し、体長は12mm強であった。

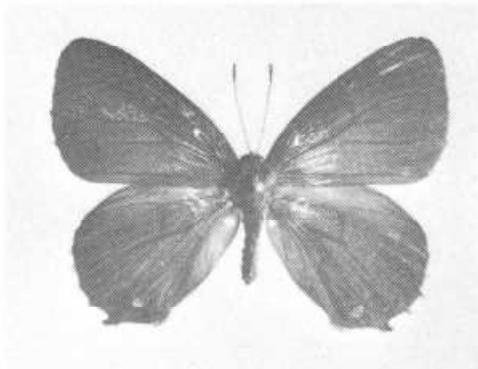
以上に記載したデータは1970年秋より1971年春にかけて採卵、飼育したもので、採集の分布も、幼生期の観察もほんの一部に過ぎない。種類別に見るとオナガシジミ、ウラクロシジミ、エゾミドリシジミ等の分布記録は県下でも記録的なものであるが、食樹のある所で比較的容易に採卵出来た事から、詳しく調査すれば県北の食樹（オニグルミ、アテツマンサク、ミズナラ）自生地であれば、かなりの範囲に分布しているものと推定される。

参考文献

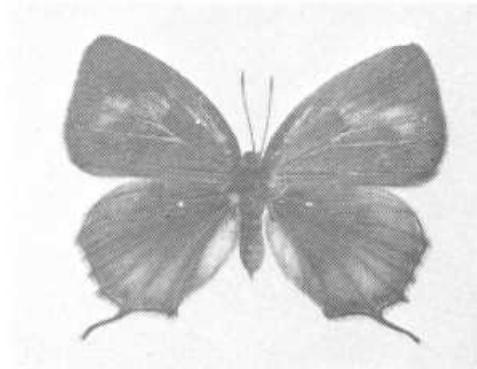
- 白水隆、原章 (1962) 原色日本蝶類幼虫大図鑑, Vol. I, II
- 倉敷昆虫同好会 (1972) 岡山県の蝶、すずむし, 第108号, 1~62P

すずむし, 112号 図 版

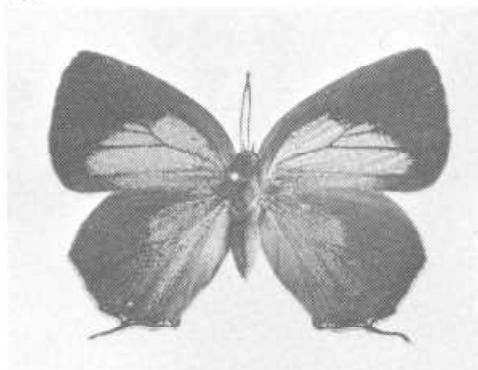
①



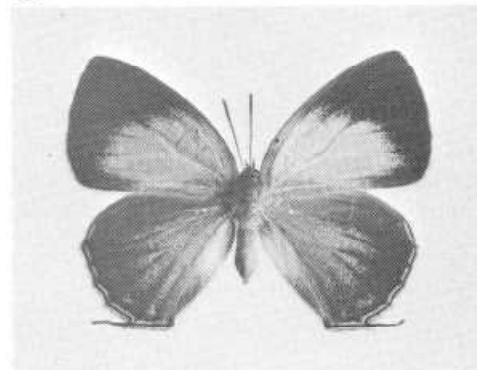
②



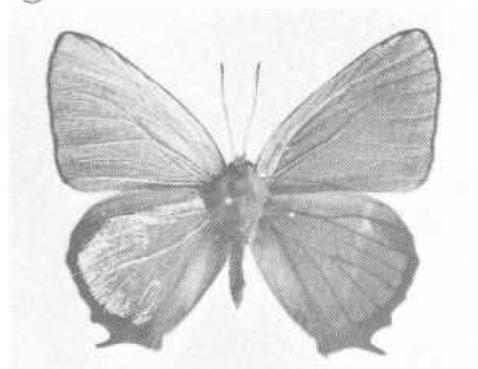
③



④



⑤



⑥

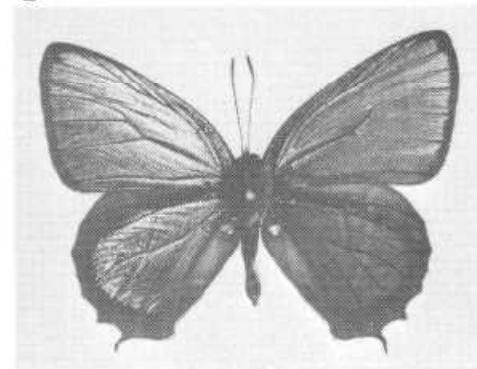


図 版 説 明

- ①ウラキンシジミ(岡山市金山産)
③ウラミスジシジミ(新見市草間産)
⑤エゾミドリシジミ(苫田郡上斎原村産)

- ②オナガシジミ(苫田郡阿波村産)
④ウラクロシジミ(苫田郡上斎原村産)
⑥メスアカミドリシジミ(苫田郡泉山産)

(M. NANBA Photo.)

岡山県産蝶類の生態に関する知見

難 波 通 孝

(岡山市北長瀬434)

県内産蝶類14種について、1973年から1975年に観察した生態に関する資料を報告しておきます。発表に際し産卵植物の一部を同定していただいた、福浜中学校の光畠之彦先生と貴重な資料を提供していただいた三宅誠治氏にはお礼申し上げます。

1) アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* MURRAY

11. VII. '75, 終齢幼虫1ex. 苫田郡奥津町にてアワブキの巣中より見いだしたもので、巣は日当りの良い南側に面した先端の葉に作り、巣の長さは55mmであった。幼虫は体長45mmあり巣の中で上向きにひそんでいた。飼育したところ、14. VII. '75, 蛹化、25. VII. '75, 羽化した。

2) チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* EVANS

16. IX. '73, 岡山市北長瀬にてマコモより幼虫を採集。

20. IX. '73, 岡山市西大寺益野にてチガヤ及びススキより終齢幼虫を採集し、チガヤに産卵したのも確認した。

3) イチモンジセセリ *Parnara guttata* BREMER et GREY

16. IX. '73, 岡山市北長瀬にてマコモより幼虫を採集。

28. VIII. '74, 玉野市南七区の国道30号線にて東より西に向い集団移動しているのを目撃し、その中の1頭採集し本種と確認した。飛び方は落着きがなく、地面すれすれのものから約3m位の高さがほとんどであった。その幅については2km位までは確認できたが数については時間もなかったので、まるで見当もつかない。AM. 9:30頃から10:00頃がピークだったようで、再び11:00頃見たときは数もかなりまばらであった。

27. IX. '75, 岡山市北長瀬にてメヒシバより幼虫を採集。

4) スジボソヤマキチョウ *Gonepteryx mahaguru niphonica* VERTERY

19. V. '74, 新見市石蟹にてエゾクロウメモドキより蛹を採集。

5) ツマキチョウ *Anthocharis scolytmus* BUTLER

7. V. '74, 英田郡作東町松脇にてタネツケバナの葉裏より2卵採集し、飼育により幼虫を確認した。

10. V. '74, 高梁市広瀬にてジャニンジンの葉裏及び長角果より採卵し、飼育により蛹まで確認した。

6) スジグロシロチョウ *Pieris melete* MÉNÉTRIÈS

23. IV. '74, 真庭郡湯原町湯原にてコンロンソウの葉裏に産卵を確認した。

- 7) ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana* BUTLER
 　30. III. '75, 岡山市西大寺矢津にてホソバアオダモの幹に多數の卵を確認した。
- 8) トラフシジミ *Rapala arata* BREMER
 　12. V. '74, 英田郡作東町にてヒメウツギに産卵を確認, 又同日英田郡英田町福本でもヒメウツギの花上に産卵している本種を観察した。
- 9) クロシジミ *Niphanda fusca* BREMER
 　20. VII. '75, 苫田郡上斎原村恩原にてカシワの新芽に産卵中を観察, 母蝶はアリとアブラムシがいる新芽に集中的に産卵し, 約40卵を確認した。他の新芽は卵も見い出せずアリもアリマキもいなかった。
- 10) ツバメシジミ *Everes argiades hellotia* MÉNÉTRIÈS
 　2. V. '74, 英田郡英田町福本にてレンゲソウに産卵を確認した。
- 11) イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* FRUHSTORFER
 　本種については富永栄作氏が倉敷市六口島にて幼虫を確認し, “すずむし”同号に発表されている。富永氏にご教示願い以後調査したところ, 7. VIII. '75, 同所にてイヌビワの葉裏より羽化後の蛹を確認し, また, 三宅誠治氏により若令幼虫の巣及び巣に付着している若齢幼虫の脱皮した頭部を確認した。これらにより六口島において発生したことは確実と見られるが, 六口島にて冬を越し, 土着しているかどうかについては疑問であり, 今後の調査が期待される。
- 12) スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotes* FRUHSTORFER
 　6. VII. '75, 新見市千屋実谷にてアワブキの葉の先端に巣を作っていた若齢幼虫を採集。また, 同所にて 3. VIII. '75, アワブキの葉上にいた 5 齡幼虫を採集した。
- 13) ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* FRUHSTORFER
 　20. IX. '75, 岡山市東平島にてヒメシバの葉裏に産卵を確認した。産卵は PM. 5:00 頃, 葉裏に約 1 分間静止し, 5 卵 2 列に並べて産卵した。
- 14) コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas* HEWITSON
 　11. IX. '73, 新見市井倉にてチジミザサの葉裏に静止していた幼虫を採集。

参 考 文 献

1. 倉敷昆虫同好会 (1972) 岡山県の蝶, “すずむし”第108号

ミスジチョウを新見市長屋で採集

ミスジチョウ *Neptis philyra excellens* BUTLER は一般に個体数が少なく県下でもあまり記録されていないようなので参考までに報告しておく。

新見市下長屋, June 1, 1974, 1 ♀.

路上約 1 m 位の高さをゆるやかに飛翔していたもので極めて新鮮な個体であった。

(中村 具見)

岡山県産蝶類の分布に関する知見

難 波 通 孝

(岡山市北長瀬434)

県内産蝶類9種について、1974年及び1975年に記録した資料を報告しておきます。また発表に際し何かと協力していただいた中村具見氏と採集に際し協力していただいた安井茂夫氏、喜多島鉄也氏、三宅誠治氏には深く感謝いたします。

- 1) ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* BUTLER
 2. VI. '74, 1ex., 新見市草間
 12. VI. '74, 1ex., 新見市下長屋
 10. VI. '75, 1ex., 新見市長屋
- 2) ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von SIEBOLD
 27. V. '75, 岡山市西大寺矢津, 1♀, 1m位近くのヤマツツジに訪花したものを確認した。
- 3) ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* FENTON
 14. VI. '75, 1♀, 赤磐郡吉井町福田, 赤磐郡からは初記録である。
- 4) ウラジロミドリシジミ *Favonius saphirinus* STAUDINGER
 14. VI. '75, 2♂4♀, 赤磐郡吉井町福田
- 5) ミヤマカラスシジミ *Strymonidia mera* JANSON
 20. IV. '75, 若令幼虫 1ex. クロウメモドキ, 新見市茶屋
- 6) クロシジミ *Niphanda fusca* BREMER
 21. VII. '74, 2exs., 苫田郡上斎原村三ヶ上
 4. VIII. '74, 1ex., 阿哲郡神郷町三坂
- 7) ミスジチョウ *Neptis aceris intermedia* W. B. PRYER
 3. VIII. '75, 1♀, 新見市千屋実谷“すずむし”第108号, “岡山県の蝶”には5月下旬から7月下旬に記録されているとあり、この記録は遅いものとして注目される。付近のカエデに止ったが、卵は確認できなかった。
- 8) キマダラモドキ *Kirinia epaminondas* STAUDINGER
 21. VIII. '74, 1ex., 苫田郡上斎原村人形峰
- 9) サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* MÉNÉTRIÈS
 10. VI. '75, 1♀, 新見市草間
- 10) ヤマキマダラヒカゲ *Neope niphonica* BUTLER
 29. VI. '75, 1ex., 英田郡東粟倉村後山
 11. VIII. '75, 1♀, 苫田郡上斎原村人形峰

参考文献

1. 倉敷昆虫同好会（1972）岡山県の蝶“すずむし”第108号

阿新産の蝶二種について

渡 辺 毅

(新見市正田広瀬)

I. ウスバシロチョウ *Parnassius glacialis* BUTLER

半透明な羽で清楚な姿に、ふわりふわりと悠長な飛び方をするウスバシロチョウは可憐である。この蝶との初めての出会いは1971年6月7日、草間台地の大原(410m)で、吉備高原での記録を聞いていなかっただけに驚異を感じた。翌年も訪れたが残念にもその姿は見当らなかった。同年6月7日大佐町伏谷(620m)で10数体も飛んでいるのを見て魅せられてしまった。

翌1972年6月2日にも再度この伏谷を訪れ多数のウスバシロチョウの飛翔に満足した。尚、当日伏谷の南方、赤松(500m)でも5~6体いて採集した。その中の1体には受胎板がついていた。

“すずむし”108号の“岡山県の蝶”に布原(250m)の採集記録があるが、1974年6月1日採集に訪れた時には確認を得ることはできなかった。

1975年6月3日、新見市千屋実谷から菅生用郷へ越す矢峰の中腹(600m)の人家の周りに多数のウスバシロチョウの飛び交うのを見ることができたが12時頃から14時頃までが最も活発に活動していた。

II. ゴマシジミ *Maculinea teleius* KAZAMOTO

私の阿新地方のゴマシジミの採集記録は次の通りである。

1971年8月27日、大佐町大佐山(600m付近)

1971年8月18日、大佐町大井野雌山山麓(600m)

1973年8月8日、大佐町大井野下組(600m)

1973年8月19日、大佐町大佐山(600m付近)

1975年8月28日、新見市土橋野(400m)

1975年9月1日、哲西町鯉ヶ窪池(550m)

採集地はワレモコウの生えている明るい草原であることは言うまでもないが、何れも火山灰土の黒土(くろぼこ)地帯であった。ゴマシジミの生息地は南部の阿哲台より冷涼な北部の中国山地に個体数は多いようである。

岡山県のチョウ未発表の産地

尾 塔 順 三

(倉敷市美和二丁目15-15)

岡山県のチョウの分布はすずむし、108号により産地がまとめられているが、私の調査、採集した未発表の産地が若干あるので、ここに発表する。なお、すずむし、108号にデータの記入されていないものについてはツマグロキチョウを除き省略した。また、多産するものの細かなデータも省略した。資料を提供下さった、宇山喜士、金田洋一、沖永栄子の各氏及び、種々ご教示をいただいた難波通孝氏には深く感謝いたします。

1. *Daimio tethys* MÉNÉTRIÈS ダイミョウセセリ
多数, July ~ Aug. 久米郡久米町神代~里公文
2. *Choaspes benjamini japonica* MURRAY アオバセセリ
1♀, Aug. 17, '69, 苫田郡上斎原村恩原 (沖永栄子採集)
1♀, Aug. 12, '72, 久米郡久米町神代柄尾谷
1ex., 目撃, Aug. 14, '72, 阿哲郡大佐山
3. *Aeromachus inachus* MÉNÉTRIÈS ホシチャバネセセリ
1♀, Aug. 10, '75, 阿哲郡大佐山
1♀, Aug. 10, '75, 真庭郡落合町関 (宇山喜士採集)
4. *Thymelicus leoninus* BUTLER スジグロチャバネセセリ
多数, Aug. 10, '75, 阿哲郡大佐山
5. *Thymelicus sylvoticus* BREMER ヘリグロチャバネセセリ
多数, Aug. 10, '75, 阿哲郡大佐山
6. *Ochlodes venata herculea* BUTLER コキマダラセセリ
2♀, Aug. 3, '74, 真庭郡勝山町星山
1♂3♀, July 29, '75, 真庭郡勝山町星山
7. *Ochlodes ochracea rikuchina* BUTLER ヒメキマダラセセリ
多数, July ~ Aug. 久米郡久米町神代~里公文
8. *Pelopidas mathias oberthuri* EVANS チャバネセセリ
2♂1♀, Aug. 12, '72, 久米郡久米町神代
1♂, Aug. 20, '75, 総社市豪渓
9. *Pelopidas jansonis* BUTLER ミヤマチャバネセセリ
3♂4♀, Aug. 7, '72, 真庭郡勝山町星山
1♂2♀, July 29, '75, 真庭郡勝山町星山

- 1 ♂ 2 ♀, Aug. 10, '75, 阿哲郡大佐山
10. *Byasa alcinos* KLUG ジャコウアゲハ
多数, May, Aug., 久米郡久米町神代～里公文
11. *Papilio macilentus* JANSON オナガアゲハ
2 ♂ 2 ♀, Aug. 10, '71, 久米郡中央町二上山
3 ♂ 4 ♀, Aug. 8, '71, 真庭郡勝山町神庭
12. *Papilio maackii tutanus* FENTON ミヤマカラスアゲハ
3 ♂, Aug. 3, '74, 真庭郡勝山町星山
1 ♂, May 18, '75, 真庭郡勝山町神庭
13. *Eurema laeta bethesba* JANSON ツマグロキチョウ
2 ♂, Aug. 12, '72, 久米郡久米町神代柄尾谷
2 ♂ 1 ♀, Aug. 14, '75, 久米郡久米町里公文
14. *Gonepteryx mahaguru niphonica* VERITY スジボソヤマキチョウ
3 ex., 3 令幼虫, May 3, '75, 川上郡成羽町黒鳥
15. *Pieris napi japonica* SHIRŌZU エゾスジグロチョウ
1 ♂, Aug. ?, '72, 久米郡中央町二上山（金田洋一氏採集）
16. *Antigius butleri* FENTON ウスイロオナガシジミ
5 ♂ 3 ♀, June 29, '75, 久米郡久米町里公文
17. *Wagimo signata* BUTLER f. *quercivora* STAUDINGER ウラミスジシジミ
1 ♀, Aug. 8, '71, 真庭郡勝山町神庭
1 ♀, July 1, '72, 真庭郡勝山町神庭
1 ♀, Aug. 7, '72, 真庭郡勝山町神庭
18. *Favonius saphirinus* STAUDINGER ウラジロミドリシジミ
3 ♂ 2 ♀, June 29, '75, 久米郡久米町里公文
19. *Favonius latifasciatus* SHIRŌZU et HAYASHI ヒロオビミドリシジミ
1 ♀, Aug. 8, '71, 真庭郡勝山町神庭
1 ♀, Aug. 13, '71, 真庭郡勝山町神庭
2 ♂ 5 ♀, June 29, '75, 久米郡久米町里公文
1 ♀, Aug. 8, '75, 久米郡久米町里公文
20. *Taraka hamada* DRUCE ゴイシシジミ
多数, Aug. 10, '72, 久米郡久米町神代
21. *Zizina otis emelina* DE L'ORZA シルビアシジミ
多数, Aug., 久米郡久米町神代～里公文
22. *Maculinea teleius daisensis* MATSUMURA ゴマシジミ
2 ♂ 3 ♀, Aug. 16, '72, 真庭郡落合町関
2 ♂ 1 ♀, Aug. 10, '75, 真庭郡落合町関
すずむし, 108号で本種の分布は「犬挾峠より少し東の中和村から斜めに美甘村へ伸び
大佐町の永富を経て高梁市の春木へ南下した線でこの以南以東からは分布を認めてい

- ない」となっているが、落合町関はこの線より東でもあり南でもある。
23. *Araschnia burejana strigosa* BUTLER サカハチチョウ
1♂, May 18, '75, 後月郡芳井町日南
1♂1♀, Aug. 10, '71, 久米郡中央町二上山
 24. *Melitaea scotosia* BUTLER ヒヨウモンモドキ
1♂1♀, June 22, '75, 新見市土橋
1♂2♀, June 26, '75, 新見市土橋
 25. *Dichorragia nesimachus nesiotes* FRUHSTORFER スミナガシ
1♂, Aug. ?, '69, 久米郡中央町二上山(沖永栄子氏採集)
1♂, Aug. 8, '71, 真庭郡勝山町神庭
1♂, Aug. 13, '71, 真庭郡勝山町神庭
1♀, Aug. 15, '72, 真庭郡勝山町神庭
2ex., 目撃, Aug. 10, '75, 阿哲郡大佐山
 26. *Harima callipteris* BUTLER ヒメキマダラヒカゲ
1♀, Aug. 22, '73, 真庭郡勝山町星山
1♂, July 29, '75, 真庭郡勝山町星山
 27. *Lethe marginalis* MOTSCHULSKY クロヒカゲモドキ
1♂2♀, Aug. 8, '71, 真庭郡勝山町神庭
 28. *Ninguta schrenckii* MÉNÉTRIÈS オオヒカゲ
1♂, Aug. 7, '72, 真庭郡勝山町星山
2♂1♀, Aug. 22, '73, 真庭郡勝山町星山
 29. *Coenonympha oedippus arothius* OKADA et TORII ヒメヒカゲ
1♀, Aug. 3, '74, 真庭郡勝山町星山
1♂1♀, July 29, '75, 真庭郡勝山町星山
 30. *Neptis pryeri* BUTLER ホシミスジ
1♀, Aug. 24, '75, 玉野市迫間

参 考 文 献

すずむし, 108号~111号

エゾスジグロチョウの 新産地と食草について

中 村 具 見

(総社市真壁1048)

エゾスジグロチョウ（本州山形県以南亜種）*Pieris napi japonica* SHIRÖZUは西南日本では一般的に局地的な分布を示し個体数も多くなく、かつスジグロチョウ*Pieris melete* MÉNÉTRIÈSに酷似していて同定が比較的困難なことからその分布記録はあまり多くないようである。岡山県でも新見市足立、井倉、草間、湯原町湯本、川上町上大竹（大賀）、高梁市臥牛山等がその産地として知られているにすぎない。筆者は備北地方を中心とした採集行において、新たに若干の分布地域を確認することが出来、更に一部地域では食草も観察出来たので併せて報告しておく。

なお発表に際し、調査に同行されて貴重なデータを快く提供された難波圭吾、難波通孝両氏に深く感謝します。

1. 分 布 資 料

川上郡川上町—弥高山（650m）Aug. 30, 1973, 3♀, 高山市穴門山神社（440m）Aug. 30, 1973, 1♀, いずれも難波圭吾氏採集。

新見市—石蟹（240m）Apr. 20, 1974, 5卵（スズシロソウより）、May 19, 1974, 前蛹1頭（スズシロソウの葉裏より）難波通孝氏採集、馬塚（300m）Aug. 15, 1973, 1♀, 下吉川（420m）July 9, 1974, 多数（採集確認）、豊永赤馬（300m）May 19, 1974, 1♀（採集確認）、千屋花見（630m）July 6, 1975, 1♀。

阿哲郡神郷町—油野重藤（340m）Apr. 22, 1974, 2♂, 1卵・初令幼虫1頭（スズシロソウより）、油野—三室（480m）July 9, 1974, 1♂.

阿哲郡哲多町—矢戸無明谷（280m）June 1, 1975, 3♀（採集確認）。

真庭郡勝山町—神庭（240m）Apr. 23, 1974, 4♀1♂.

2. 食草について

新見市石蟹および神郷町油野重藤において上記採集データの如くスズシロソウ *Arabis flagellosa* Miq. から卵とこれを摂食中の幼虫を得ることが出来た。これらの卵及び幼虫は自宅に持帰って全幼虫期スズシロソウを与えて飼育したところ、May 23~27, 1974に4♀1♂（夏型）が羽化し、この地域での一食草としてスズシロソウが確認されたわけである。

石蟹ではペニモンカラスの幼虫を観察に行った際、偶然足元をゆるやかに徘徊するかの

如く飛ぶ本種♀を発見し、しばらく追跡したところ付近の石灰岩の上に生えたスズシロソウの根出葉の葉表中央部に静止、そのまま2卵を産付（葉表に）した。この間母蝶は翅を半開したまま殆ど動かさなかった。葉上に飛来して産卵終了後飛びたつまで約10秒を要した。

油野重藤では段々畑の石垣に多数のスズシロソウが生えており卵も容易に発見することが出来た。

なおこの他に勝山町神庭、新見市草間でも成虫の多数見られる地域にスズシロソウが群生しているのを確認しているが、卵あるいは幼虫は未だ確認していない。

一般にスジグロが広範な分布を示すのに対し、エゾスジグロは局地的に分布することが知られている。その一因として前者は野生のアブラナ科全般にわたり食草とするのに対して、後者はそのうちハタザオ属（*Gen. Arabis*）だけに限られるからだと考えられている。本県でもスズシロソウが豊富にみられる新見市及びその周辺の石灰岩台地ではスジグロよりもエゾスジグロの方が圧倒的に多く、これらの地域ではスズシロソウと密接に結びついで分布しているものと考えられる。ただ千屋花見のような中国山地帯の草原では個体数も少なく食草も未発見であり棲息地の様相も石灰岩地域とはかなり違うので今後の調査が期待される。

参考文献

- 1) 日浦勇 (1973) 海をわたる蝶. 蒼樹書房, 東京.
 - 2) 倉敷昆虫同好会 (1972) 岡山県の蝶. すずむし, 108号.
-

ヒメヒカゲの新産地

近年本種の記録は見あたらないが、筆者等は、芸備線沿線の鯉ヶ窪にて採集したので報告する。

阿哲郡哲西町矢田谷鯉ヶ窪 (540 m)

3♀, 30. VI. 1974, 三宅誠治採.

1♂, 15. VI. 1975, 中村具見採.

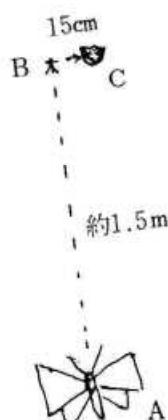
貴重なデータを提供していただいた中村具見氏にはお礼申し上げます。

(三宅 誠治)

キタテハの行動について

1973年10月2日13時ごろ、殆ど無風であった。御津郡加茂川町下加茂の南面した山麓の小さな独立した墓地であった。墓碑の周囲にコンクリートが打ってあったが、そのコンクリートの上に1頭のキタテハが翅を休めていた。相当に強い日射しの中でしばらく静止していた。カメラを持って近づくと、ときどき翅を半開しては又閉じる動作をくりかえして

いたが、突然翅を開いて図のB点にまでかけ足で進んだ。B点で一たん静止した後、方向変換してCに向かって直進した。Cは梨の実の半分で表面は一部腐りかけていた。墓に供えられたものを、カラスか何かがつついで転ばしたものと思われる。キタテハはこの梨の実の上に上がって口吻を差込むところを探しているらしく、忙がしく歩きまわっていた。A点でCからのにおいをアンテナにキャッチして針路をきめてBまで直進し、そこで方向を修正して次の行動にうつったように見える。翅を開いたまま（おそらくバランスをとるために）脚でしかも相当の速さで走ったのを珍らしく思ったので報告します。



(風早 保男)

ツクシリンガの新産地

ツクシリンガ *Hylophilodes tsukusensis* NAGANO は暖地性の比較的稀な種で特に本州では、山口県(玖珂郡美和町⁵⁾)、広島県(広島市雑魚場町¹⁾、草津³⁾、宮島⁴⁾、呉市二河峠^{2),5)}、郷原町⁵⁾)、岡山県(岡山市半田山植物園^{6),7)})等で知られているにすぎない。筆者は県下で下記の如く採集しているので参考までに報告しておく。

- 総社市真壁 Sep. 6, 1975 3♀
 総社市見延 Sep. 18, 1974 2♂
 小田郡矢掛町上高末 Sep. 6, 1975 3♀
 高梁市川面町市場 Sep. 14, 1975 1♀

総社市見延で得た2♂はムラサキツバメを採集している折、シリブカガシを叩いていて偶然網に入ったものであり、他はすべて水銀灯に飛来したものでいずれも♀である。

引用文献

- 1) 中村豊二、中村慎吾、清水健一 (1962) 広島市とその周辺の注目すべき蝶類. 広島虫報, 1: 3.
- 2) 保田信紀 (1963) 呉市付近の蝶、蛾類雑記. 広島虫報, 2: 41.
- 3) 小田淳子 (1965) 広島市草津産蛾類目録. 広島虫報, 4: 108.
- 4) 清水健一 (1968) 巖島の蛾類(3). 広島虫報, 7: 219.
- 5) 田坂富士郎 (1972) 呉市におけるツクシリンガの記録追加. 広島虫報, 11: 392.
- 6) 横本精二 (1966) 岡山県未記録の蛾. すずむし, 100: 59.
- 7) 赤枝一弘 (1970) 岡山市の蛾類目録1. すずむし, 104: 28.

(中村 具見)

トビイロカミキリ *Allotraeus sphaerioninus* BATES の食痕について

黒 田 祐 一

(〒700 岡山市中央町3の6)

本種は小島・林¹⁾によれば本州・四国・九州・隠岐・対島・屋久島・種子島・トカラ中之島に分布し、岡山県下に於いても北部山地より吉備高原にかけて生息する普通種である。

本種幼虫については小島²⁾により、蛹については小島・中村³⁾により記載され、幼虫の食樹については小島・岡部⁴⁾によりタブノキ・ホソタブ・シロモジ・アブラチヤン・カゴノキ・バリバリノキ・イスノキ・ヒメシヤラが報告されているが、食痕についての報告は未だないようである。

筆者は昭和21年5月19日、岡山県真庭郡神庭における採集の途上で、一本の薪材に天牛の幼虫が食害しているのを認め、持ち帰った所翌年4月19日に蛹化、別個体が5月11日に2頭羽化し、本種であることを知った。昔のことで現在その加害木は手元にないが、特異な食痕が印象的で、当時のメモより概略ながら報告しておくことにする。

加害された木は長さ約50cm、径約6cm（やや楕円形）の、樹皮は平滑な、木質部の固い薪材（種名不明）で、食害のすんだ時期において素手で容易に皮質部と木質部の分離が可能であった。

食痕よりして樹皮の2ヶ所に直径2mm程の産卵孔を認め、夫々に少くとも35個、24個の産卵が行なわれていた。小島⁵⁾によると本種は産卵加工をしないそうであるが、恐らく途中で中止されたキクイムシの穿入孔を産卵に利用したのではないかと思われる。又本種49個体の藏卵数が1～48個であったそうであるから、条件さえよければ殆ど1～2ヶ所にて産卵を終了してしまうものと想像される。産卵孔は木質部に達しており、卵より孵化した幼虫は孔の底部より各々四方に向かって木質部を皮質部に向かって斜に穿孔し、孔より約1mm離れた所で皮質部との界に至り、以後その界で主として木質部を食害しつつ成長する。

樹皮を取り去った加害木を表面より外見すると産卵孔を中心として当初放射線状であった食痕は早期に材の縦軸方向に約半数宛上下の方向に分かれ、極く僅かに蛇行しつつ、互いにうすい隔壁を保ちながら虫体の生長に比例して孔道の巾・深さが増大し、その為に産卵孔の上下に軽く扇をひろげた様な模様で、かなり特徴的な食痕を呈している。しかして充分成長した幼虫はその末端より木質部に穿入し、縦軸の方向に縦長の蛹室をつくり、羽化後最短距離をとり外部に脱出する。

以上観察時の参考になれば幸です。

筆をおくに際し日頃より貴重なる文献を恵与、ご指導いただいている林国夫博士・小島

圭三博士・中村慎吾氏に心よりお礼申し上げます。

参考文献

- 1) 小島圭三・林 匡夫 (1969), 原色日本昆虫図鑑 I カミキリ編, 保育社
 - 2) 小島圭三 (1959), 日本産カミキリムシの幼虫の形態学的研究, げんせい 9 : 1~64.
22pls.
 - 3) 小島圭三・中村慎吾 (1969), 日本産カミキリムシのさなぎの形態学的研究 (第1部)
高知大学学術研究報告 18 (9) : 81~108. 11pls.
 - 4) 小島圭三・岡部正明 (1960), 日本産カミキリムシ食樹総覧, 高知弘文堂
 - 5) 小島圭三 (1960), 日本産カミキリムシ類の生態学的研究—成虫の産卵と幼虫の出現—
げんせい 10 : 21~46
-

臥牛山のカミキリムシ2種

筆者は臥牛山の蛾の採集を試みているが、燈火に飛来したカミキリムシ2種を報告します。

1. *Euryptoda batesi* GAHAN ベーツヒラタカミキリ
1♀, 31. VIII. '75 (岡山県未記録)
2. *Arhopalus rusticus* LINNÉ サビカミキリ
1ex., 31. VIII. '75

燈火飛来のカミキリムシについて若干の記録があるが、とりあえず、臥牛山未記録種について報告し、他はもう1シーズンを経て一括報告したい。

御教示いただいた青野孝昭氏に感謝します。

(風早 保男)

ムラサキツバメの新産地

ムラサキツバメ *Narathura bazalus turbata* BUTLER は県下では産地の局限された稀な蝶で、現在までに総社市豪溪、倉敷市連島町宮之浦、浅原、鶴形、備前市伊里中がその産地として報告されている。筆者は一昨年小田郡矢掛町上高末の美山川ダムを訪れた際、付近に多数のシリブカガシが自生するのを認め、探索の結果下記の如く幼虫を採集することが出来たので報告しておく。

小田郡矢掛町上高末, Aug. 21, 1973 2~3令幼虫 3exs.; Aug. 22, 1973 3令幼虫 4exs.

幼虫は半日陰の地上 1m 以下の根際よりのびた若年枝の若い葉を、葉表を外にして軽く筒状につづりその中に静止しており常にアリ (何種類かいるが種名不詳) を伴っていた。

(中村 具見)

蝶の訪花記録（その2）

難波通孝

(岡山市北長瀬434)

筆者は蝶の訪花について（その1）を臥牛、No.2, 1973に報告しているが、1974及び1975に観察したデータがあるので、わずかではあるが記録しておく。

1. アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* MURRAY
12. V. '74, 英田郡大原町, レンゲソウ
10. VI. '75, 英田郡英田町福本, アザミの一種
2. コキマダラセセリ *Ochlodes venata herculea* BUTLER
11. VII. '75, 苦田郡上斎原村恩原, アザミの一種
3. コチャバネセセリ *Thoressa varia* MURRAY
10. VI. '75, 新見市長屋, ヒメウツギ
4. キマダラセセリ *Potanthus flavum* MURRAY
15. VI. '74, 新見市下長屋, ヒメウツギ, ヒメジョン
5. ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* BUTLER
10. VI. '75, 新見市長屋, ヒメウツギ
6. イチモンジセセリ *Parnara guttata* BREMER et GREY
10. VI. '75, 新見市長屋, ヒメウツギ
7. ウスバシロチョウ *Parnassius glacialis* BUTLER
12. V. '74, 英田郡大原町, レンゲソウ
13. V. '74, 英田郡西粟倉村, トウグミ, オドリコソウ, クシバタンボボ
8. ギフチョウ *Luehdorfia japonica* LEECH
17. IV. '74, 真庭郡湯原町湯原, オオイヌノフグリ, タチツボスミレ
9. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* FRUHSTORFER
10. VI. '75, 新見市長屋, ヒメウツギ
10. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* C. et R. FELDER
10. VI. '75, 新見市長屋, ヒメウツギ
11. スジボソヤマキチョウ *Gonepteryx mahagura niphonica* VERITY
15. VI. '74, 新見市下長屋, ヒメウツギ
12. ツマキチョウ *Anthocharis scolytus* BUTLER
23. IV. '74, 真庭郡湯原町湯原, カキドオシ, オオタチツボスミレ, オオバタネツケバナ.

13. スジグロシロチョウ *Pieris melete* MÉNÉTRIÈS
7.V.'75, 英田郡大原町. レンゲソウ
14. ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri* MURRAY
10.VI.'75, 新見市長屋. ヒメウツギ
15. テングチョウ *Libythea celtis celtooides* FRUHSTORFER
10.VI.'75, 新見市長屋. ヒメウツギ
16. クモガタヒヨウモン *Nephargynnis anadyomene mides* BUTLER
19.V.'74, 新見市草間. ネギ
10.VI.'75, 新見市長屋. ヒメウツギ
17. サカハチチョウ *Araschnia burejana strigosa* BUTLER
11.V.'74, 真庭郡落合町. コンロンソウ

終りに訪花植物の一部を同定していただいた、福浜中学校の光畑之彦先生にお礼申し上げます。

鈴虫の飼い方

難波稔明

(岡山市中島田町1丁目6-10)

1. 飼う準備

容器はカメやたるでもいいが、なるべく中が見えるプラスチックやガラスがいい。観察しやすいためと、虫がすべて登れないので扱いやすい。四角なのりのびんで10匹は充分飼える。ふたはガーゼをゴムでとめるか、防虫網にわくをつける。換気を充分に行うためとクモ等の侵入を防ぐために必要である。

砂は適度の水分を保つため、山の砂でも川の砂でもかまわないが、あまり荒いものは水分を保つことにならない。海の砂はよくない。貝がらの破片が多数入っているからわかる。しかし、湯を多くして煮沸すれば使える。いずれの砂も使用前に充分水で洗い、水がにごらぬようになってから使用し、なるべく消毒のために煮沸したり、日光にさらしたりしてカビを予防する。その他、かつおの粉を与えるふた（小さい時はジュースのふた、大きくなれば大きいふた）、かつおを粉にするすり鉢（なくともいい）、ナスを突きさす割ばし、かくれ場所にする木枝や株根（小さいうちは新聞紙だけの方が扱いやすい）などが必要である。

2. 置き場所

直射日光の当らない、雨のかからない所、蚊取線香や殺虫剤、農薬のおそれのまったくない所、室内でも室外でもよい。

3. 毎日の世話

少なくとも2日に1回、餌のナスを与える。輪切りにして、はしをさして立てる。ナスが砂にふれないこと。他の野菜や果物は与えないこと。スイカやメロン、トマトなどを与える人があるが半日もすればくさり始めるので駄目。その点、ナスは砂にふれなければ、ひからびてもなかなかくさらない。5日に1回（少なくとも1週間に1回）かつおの粉を与えるが散らぬよう注意する。切らしたり、変質するまで放っておくと共食いを始める。

砂が乾燥しないように水をかける。上まで水がたまるようでは駄目。鳴くのは主に夜で暗く静かなら昼でも鳴く。

4. 冬の世話

秋に少し寒くなると卵を産んで次々と死ぬ。卵はガラス沿いに産んでいる。水やりで堀り出されたりして見つかることもある。親が死んでしまったら、死体も、餌も、かくれ木も取り除く。

直接、日光や雨の当らない屋外か、暖房のない室内において、水分を切らさないように月に1回は気をつけて見る。にぎやかに鳴く夏に比べ、変化の全くない冬は忘れがちであるが、来年の発生を見るために冬の世話は忘れないでほしい。

5. 発生

翌年、5月ともなれば水の注意はもちろん、発生を見のがさないよう毎日観察する。1匹でも動いたらすぐ餌を与え始める。この時期は岡山県内でも地域や置き場所によって1か月以上も違ってくる（5月下旬～6月中旬）。

岡山県内蝶採集例報告

1. 新見市草間, 1975. 6. 14

ミスジチョウ, 1♀完全, ウツギの一種花にて吸蜜中を採集.

2. 阿哲郡明地峰, 1975. 8. 3

キマダラモドキ, 1♀完全品採集.

ヒメヒカゲ, 1♀破損品採集.

ゴマシジミ, 3 exs. 破損品採集.

ギンイチモンジセセリ, 4 exs. 採集, 多数目撃

(荒喜 齊)

倉敷昆虫同好会会則

1974年（昭和49年）3月31日改正

1. 本会を倉敷昆虫同好会と称する。
2. 本会の本部を倉敷市住吉町岡山大学大原農業生物研究所作物害虫第2研究室内におき
事務連絡先は倉敷市幸町倉敷昆虫館内におく。
3. 本会は昆虫学に関するあらゆる研究を行い、その進歩普及をはかり、あわせて同好者
間の親睦を増すのを目的とする。
4. 前項の目的を達成するために、次の諸行事を行う。
 - A. 随時採集会を行う。
 - B. 随時懇談会を行う。
 - C. 機関紙“すずむし”を年1回発行する。また連絡誌“臥牛”を年数回発行する。
 - D. その他目的達成のため必要と認められる行事を行う。
 - E. 倉敷昆虫館の運営にあたる。
5. 本会の行事年度は毎年1月1日に始まり、12月31日に終る。
6. 年齢、性別を問わず、昆虫に関心を有し、本会の趣旨、目的に賛意を表する者は誰で
も本会に入会できる。
7. 本会の会員は機関誌の配布を受け、これに執筆し、又懇談会など本会の行う諸行事に
参加することができる。ただし会費年1000円を前納しなければならない。ただし分納
もこれを認める。会費滞納が2ヶ年以上継続し、通知しても連絡のない時は自然退会
とみなされる。
8. 退会せんとするものはその旨を本会事務所に申し出ること。ただし既納の会費は返付
しない。
9. 本会には幹事を若干名おく。
10. 幹事の任期は2年とする。ただし重任を妨げない。
11. 幹事改選は誌上連絡により、投票をもってこれを行う。
12. 本会の運営に関する事項会則の変更及びその他細則については幹事会がこれを行い、
誌上に発表し、会員の承認を得る。

倉敷昆虫同好会顧問

石 原 保 先生

小 泉 憲 治 先生

安 江 安 宣 先生

佐 藤 清 明 先生

杉 山 章 平 先生

白 水 隆 先生

重 井 博 先生

医療法人

重 井 病 院

倉敷市幸町 TEL (22) 3655

目 次

近藤光宏・三宅宗夫；岡山県の広腰亜目(膜翅目)その1 ハバチ科	1
宇野弘之・榎本精二；岡山県未記録の蛾	18
難波通孝；岡山県のゼフィルス(その採卵と飼育)	24
難波通孝；岡山県産蝶類の生態に関する知見	29
難波通孝；岡山県産蝶類の分布に関する知見	31
渡辺毅；阿新産の蝶二種について	32
尾塙順三；岡山県のチョウ未発表の産地	33
中村具見；エゾスジグロチョウの新産地と食草について	36
黒田祐一；トビイロカミキリ <i>Allotraeus sphaeriomimus</i> BATES の食痕について	39
難波通孝；蝶の訪花記録(その2)	41
難波稔明；鈴虫の飼い方	42

おとしぶみ(短報)

富永栄作；イシガケチョウの幼虫を倉敷市六口島にて観察	17
藤原敏栄；ハヤシミドリシジミの1産卵例	17
尾塙順三；倉敷市内でナガサキアゲハ春型の目撃	23
尾塙順三；ベニモンカラスシジミの訪花	23
中村具見；ミスジチョウを新見市長屋で採集	30
三宅誠治；ヒメヒカゲの新産地	37
風早保男；キタテハの行動について	37
中村具見；ツクシリソウの新産地	38
風早保男；臥牛山のカミキリムシ2種	40
中村具見；ムラサキツバメの新産地	40
荒喜齊；岡山県内蝶採集例報告	43

すずむし No. 112, December 1, 1975

倉敷昆虫同好会発行

連絡事務所 倉敷市幸町(倉敷昆虫館内)〒710
振替口座 岡山6927

本部(倉敷市中央2丁目20の1 岡山大学大原農業生物研究所内)

印刷所 サンコー印刷株式会社

岡山県総社市駅前2丁目13-5
